

## EVENTS

### OPEN CAMPUS

電通大のリアルな雰囲気をもっと足先に体験できる！  
先輩たちも待っています！

第1回  
7/14 (日)

実施方法：対面（一部オンライン）

第2回  
11/24 (日)

実施方法：対面（一部オンライン）

イベントカレンダー  
はこちら



### Traffic Guide

アクセス  
新宿駅から京王線で約15分  
羽田空港からリムジンバスで約1時間～1時間30分  
調布駅下車、中央口より徒歩5分  
○の時間は、出発地から調布駅までの乗車時間の概算です



国立大学法人

電気通信大学

UEEC



〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1  
電話番号：042-443-5019  
<https://www.uec.ac.jp/>



入試資料請求



X 大学公式



X アドミッションセンター



Instagram

# 情報 × 理工で 未来を切り拓く

## MESSAGE | 学長メッセージ

### 多様性と相互理解を尊重し 新しい未来を創る学問と出会う場に

皆さんは「超スマート社会」、「Society5.0」という言葉をご存じでしょうか？

狩猟社会、農耕社会、工業社会を経て、現代は情報通信技術（ICT）の進歩によりインターネット、スマートフォンなどで様々な情報を活用できる第4の情報社会です。その次のSociety5.0は、AI、ネットワーク、ロボット、光・量子技術など本学が強みを持つ技術により、自律的に進化し続ける社会が出現します。本学ではこの未来社会を「共創進化スマート社会」と名付けました。

共創進化スマート社会の教育・研究・実現の世界的拠点となるべく本学自身もD. C. & I. 戦略により進化します。既存の枠組みや専門分野を越え、多元的な多様性（pluralistic Diversity）を尊重し拡大させ、多様性間の幅広い連携・協働と深い相互理解（deep Communication）により、継続的にイノベーション（sustainable Innovation）を生み出し、共創進化スマート社会を実現します。

未来の担い手である皆さんが本学に集い、多様なバックグラウンドを持つ学生、教員、研究者の中で、積極的に混じり合い、相互に触発し、イノベーションを生み出し、共創進化スマート社会の実現を先導することを期待しています！

電気通信大学長 田野 俊一



## 電気通信大学の理念

### 万人のための 先端科学技術の 教育研究

情報と通信を核とした諸領域の科学技術分野において、世界をリードする教育・研究拠点として教育力と研究力を発展させます

1. 我々の生活環境を安心・安全で豊かなものにするための、先端科学技術分野の教育・研究を推進します。
2. 情報、通信、制御、材料、基礎科学、および将来の社会に必要な諸分野の教育・研究を推進します。
3. 理論からものづくりまでの特徴ある研究で、世界をリードする教育・研究拠点を目指します。

### 自ら情報発信する 国際的研究者・ 技術者の育成

社会と技術への幅広い見識、国際性、倫理観を備えた、創造力と実践力のある研究者・技術者を育成します

1. 我が国の科学技術創造立国を弛まぬ教育と研究で支え、世界に貢献する実践力のある人材を育成します。
2. 高い倫理観、コミュニケーション能力、判断力を持つ指導的な研究者・技術者を育成します。
3. 学部教育と大学院教育の連携を推進し、大学院教育の高度化と多様化をより一層図ります。社会人教育を重視し、留学生の受け入れと送り出しを一層充実させます。

### 時代を切り拓く科学技術に 関する創造活動・ 社会との連携

広く内外と連携した知と技の創造活動を通じて、我が国と国際社会の発展に貢献します

1. 国内外の研究者の交流を活性化し、同時に国際化を推進します。
2. 国際的視野に基づき、広く外部の機関との連携を強化し、時代を切り拓く科学技術分野の研究を推進します。
3. 地域産学官民連携を強化します。

## CONTENTS

学長メッセージ／理念	03	初年次教育	17
UEC VISION -beyond 2020-	04	I類（情報系）	18
巻頭特集《研究最前線》		II類（融合系）	22
01：GISビッグデータを活用し、より有効な 災害情報の発信、活用を目指す。	06	III類（理工系）	26
02：人間の知覚メカニズムを解明し、 演奏技能のトレーニングに活用。	08	先端工学基礎課程（夜間主コース）	30
03：色素を追加した光ファイバーでインフラの ひずみを検知するシステムを構築。	10	キャリア教育	30
UEC WOMAN 未来を担う電通大女子	12	楽力教育	31
GLOBAL EDUCATION グローバル教育	13	大学院 情報理工学研究科	32
UEC EDUCATION 電通大の学び	14	STUDENT SUPPORT	
電通大の教育制度と学修プロセス	16	学費／奨学金／学生サポート	34
		進路・就職・資格／就職サポート	35
		UEC CAMPUS LIFE	36
		入試情報	38

## 私たちが思い描く Society5.0、すなわち「共創進化スマート社会」の実現に向けて

我が国がめざす未来社会の姿として、Society5.0が提唱されています。本学は、Society5.0を、人間知・機械知・自然知を融合させて新たな価値（進化知）を創造し、様々な課題を自律的に解決しながらリアルタイムに発展し続ける「共創進化機能」を持つ社会、すなわち「共創進化スマート社会」と考え、その実現に貢献し、自らも共創進化スマート大学となります。

### UEC VISION の三本柱

#### 共創進化スマート社会の実現拠点

世界的な教育・研究機関として共創進化スマート社会の実現拠点となります

#### 共創的進化の実践

自らも共創進化スマート大学となります

#### D. C. & I. 戦略と知の好循環形成

あらゆる活動に対してD. C. & I. 戦略を実践し教育・研究・人材の循環拠点を形成します

## SUSTAINABLY EVOLVING SOCIETY

### 進化し続けるスマート社会

インターネットを始めデジタル化・モバイル化が加速することによって、私たちの社会・生活には大きな変革が起こっています。そのような変革の中で、あらゆる人々が心豊かに生きがいを持って暮らせるように、仮想空間と現実空間が高度に融合し、経済発展と社会課題解決を両立しながら自律的に進化し続ける「共創進化スマート社会」の実現に向けて、最先端技術の教育と研究を加速させていきます。



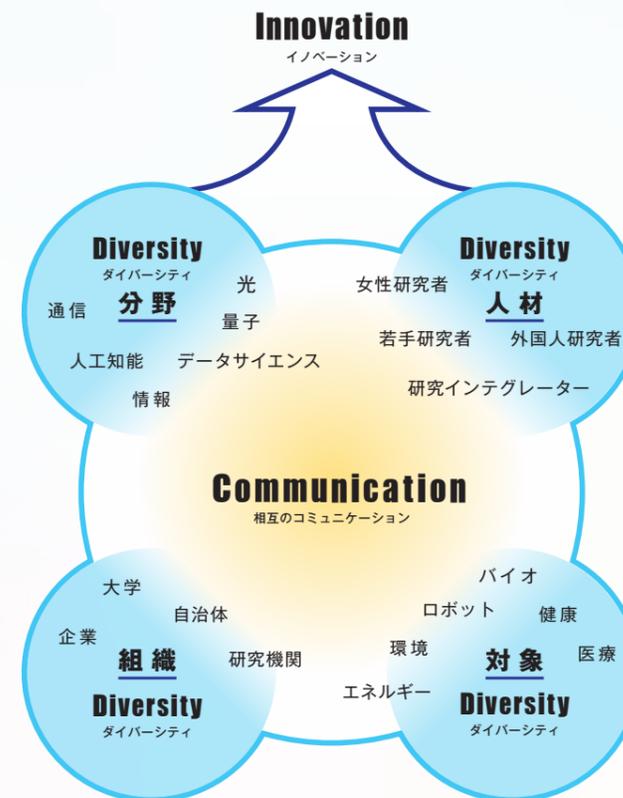
## SUPER SUSTAINABLE PLATFORM



### スーパーサステイナブルプラットフォーム

IoT (Internet of Things) や5G等の普及により、世界中のセンサーが繋がり、またあらゆる機能が公開され制御できる社会が間近に迫っています。あらゆるセンサーからの膨大なデータが連携すると、社会をより良くする新しい制御の仕組みが、AI (機械知) や人間知により発見されます。その仕組みをそのまま社会に組み込むと、社会が不安定な状態になったり、セキュリティ、プライバシーや倫理的な問題が生じるかもしれません。これらをあらゆる面からチェックし、パスしたものを組み込むことで社会が安定的に進化していきます。進化した社会では、集まるデータも変わり、さらにそのデータが連携して社会がまた進化するという自律的な循環が起こります。

## D. C. & I. STRATEGY



### D. C. & I. 戦略

「共創進化スマート社会」を実現するために本学が打ち出した戦略です。全構成員の多様な活動を尊重する「D」ダイバーシティを堅持し、相互理解と触発を促進する「C」コミュニケーションを活性化させることで、既存の枠組みに捉われることなく幅広い連携・協働・共創を推進し、価値創造や人材育成における「I」イノベーションを持続的に創出します。



# GISビッグデータを活用し、より有効な災害情報の発信、活用を目指す。

#社会システム工学 #空間情報科学 #社会情報学

I類(情報系)経営・社会情報学プログラム 山本研究室

GIS(地理情報システム)を用いた情報の収集・共有化・提供システムの開発



(情報系)



**山本 佳世子** 教授  
Yamamoto Kayoko  
I類(情報系)  
経営・社会情報学プログラム

Profile

香川県出身。1992年お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。1994年お茶の水女子大学大学院人文科学研究科地理学専攻修了。1999年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士(工学)。2006年から現職。専門は社会システム工学。2014年～現在まで日本学術会議連携会員、2015～2017年まで内閣府上席科学技術政策フェローを兼務。

私がライフワークとして取り組んでいるのは災害科学の研究です。この分野の研究を始めた契機は、1995年に発生した阪神・淡路大震災でした。その後、2011年の東日本大震災、2024年元旦の能登半島地震等において情報通信技術がいかに活用されたかを研究し、その成果をもとに、被災地の復旧・復興支援に関し、政府や自治体等への提言を行っています。私の研究室では、超スマート社会、仮想空間と現実空間が融合したデジタルツインと言われる社会で役立つ新たな情報通信技術の開発や情報分析を行っています。中でも、近年注目されているのは、GIS(geographic information systems:地理情報システム)を用いた情報の収集・共有化・提供システムの開発。さらに統計的手法や数学的手法等を利用した政策評価も行い、この成果は、近年世界中で多発する多様な災害の復旧・復興支援、防災・減災対策に貢献するものであると期待されています。

Research by  
UEC

研究最前線

02

人間の知覚メカニズムを解明し、  
演奏技能のトレーニングに活用。

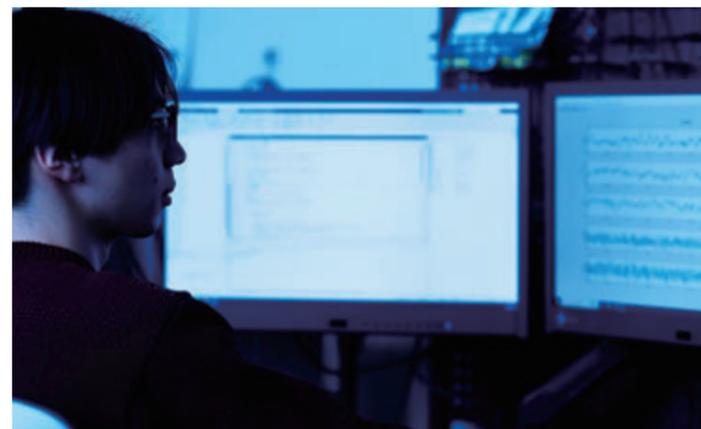
#聴覚心理学・生理学

#演奏科学

#感性情報学

Ⅱ類（融合系）計測・制御システムプログラム 饗庭研究室

聴覚に見る「演奏技能」と「職人技能」



饗庭 絵里子 准教授

Aiba Eriko

Ⅱ類（融合系）  
計測・制御システムプログラム

Profile

オーストラリア出身。2004年京都市立芸術大学音楽学部器楽科（ピアノ）卒業。2006年京都市立芸術大学大学院音楽研究科音楽学専攻博士前期課程修了。2009年同博士後期課程修了。関西学院大学理工学部博士研究員、産業技術総合研究所における日本学術振興会特別研究員PD、電気通信大学大学院情報システム学研究所助教などを経て、2018年より現職。

私の研究室では、音楽を聴いたり演奏したりするときに欠かせない人間の能力を研究しています。一つ目のテーマは聴覚。私たちの聴覚は音の情報をどのように分析しているのかを知るために、聴取実験や脳機能計測を行っています。二つ目は演奏科学。認知科学の手法を使って人間がどのように感覚や身体を使って楽器を演奏しているのかを調べています。卓越した技術をもつ演奏家がいかに効率的に指を動かし、楽譜を読んでいるかを実験的に検証しています。知覚メカニズムを解明することは、聴覚系のシステムを病気などによって損失してしまったとしても、コンピュータによる処理で補う技術の開発につながるかもしれません。演奏科学の研究は、初心者の方の効率的なトレーニングに役立ち、より楽しく継続できることから、さらなる上達につながる可能性があります。

色素を追加した光ファイバーで

# インフラのひずみを検知するシステムを構築。

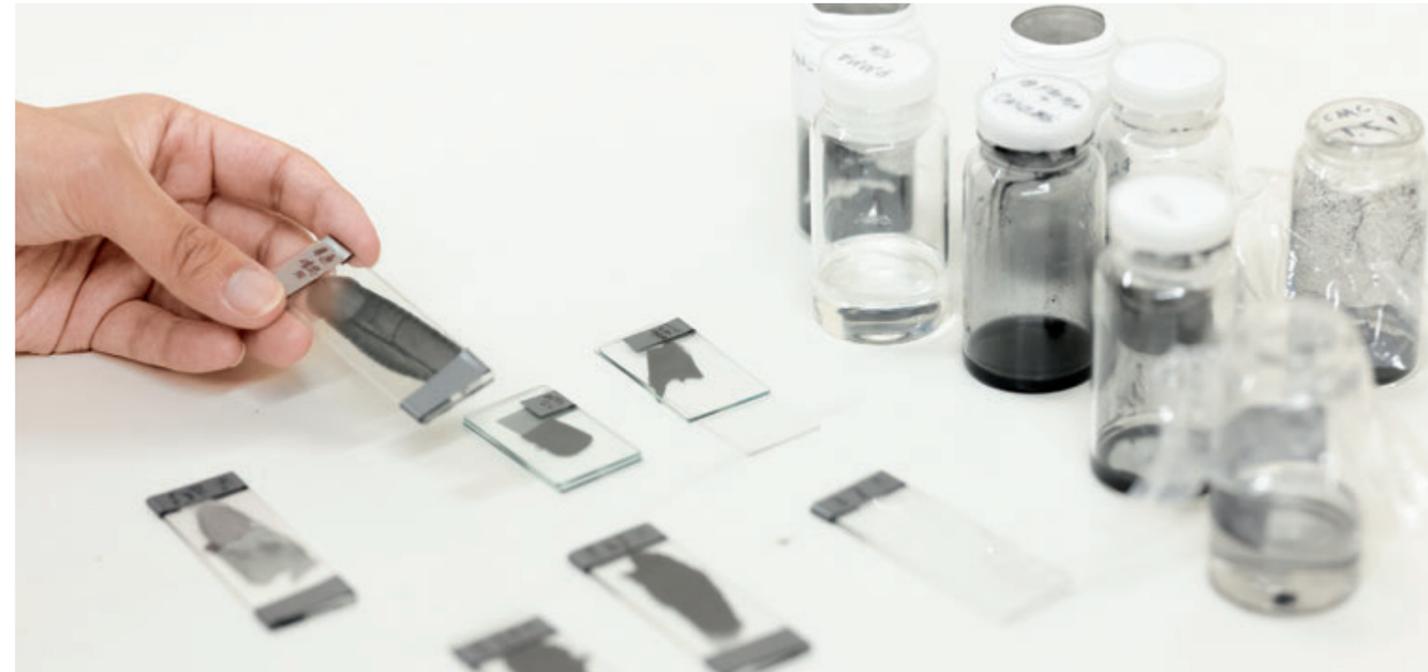
#プラスチック光ファイバー

#有機・無機ハイブリット

#循環型技術

Ⅲ類(理工系) 電子工学プログラム 古川研究室

機能性材料の担体としてのプラスチック光ファイバー



古川 怜 准教授

Furukawa Rei

Ⅲ類(理工系)  
電子工学プログラム

Profile

東京都出身。2009年度慶應義塾大学理工学研究科博士後期課程修了。ワシントン大学ポスドク、電気通信大学特任助教などを経て、2016年より現職。

光ファイバーに色素などを添加して、「色」でひずみを感知する光ファイバーを開発することに取り組んでいます。添加物を光ファイバーの中に分散させることで、添加物が存在する構造を何メートルと続くようにできます。たとえば、青い光が当たると赤く発光する特性のある色素の場合、その反応は微小で顕微鏡でしか確認できないかもしれません。それでも、添加物が光ファイバーに詰まっていれば、青い光を光ファイバーに入射することで、赤い発光は積算され肉眼で見られるような明るさで反対側から出てくるため、微細で複雑なデバイスを搭載しなくても信号を検出しやすい光ファイバーが実現でき、トンネルや橋などのインフラに張り巡らされれば、建造物のひずみを検出するシステムが実現できます。このように、資源を過剰に使わずに実現できる技術を開発していきたいです。

# UEC WOMAN 未来を担う電通大女子

## TALK / 在学生が語る

入江：高校生の頃にロボットを作りたいと思い始めて、その環境が整っている大学を考えると電通大を志望しました。今は、振動学を利用して中耳の病変を見つけるための検査方法「ワイドバンドティンパノメトリー」の実用化に向けて研究に取り組んでいます。耳は個人差が大きいので膨大なデータが必要で、実験やミーティングで忙しい日々ですが、この研究が将来の治療に活かされると思うと、とてもやりがいを感じています。

宮本：私は金融系に就職したいという気持ちがあつて、それなら文系ではなく理系の勉強をすることで自分の強みにしたいと思い電通大を選びました。

入江：逆算して考えた結果だったんですね。

宮本：はい。経営学にも興味があつたので、理系の大学の中で情報系が学べて経営工学の研究まで出来るということを選びました。今は経営・社会情報システムの設計や評価に取り組むつ、情報の分析・解析・調査をする際に使う統計学、数理モデル、多変量解析などを学んでいます。

入江：宮本さんは学域の2年生ですが、電通大の授業はどのような印象ですか？

宮本：私は元々理系ではなかったのですが、1年次の基礎実験は正直いうと大変でした。さらにプログラミングも全くやったことがなかったため、最初は私に出来るのか不安になることもありましたが、でも2年間が過ぎようとしている今ではすっかり慣れましたし、電通大ならではの高度に整った環境でデータサイエンスの知識を身につける日々は充実感があります。

入江：慣れないといえ、私は中高一貫の女子校だったの

で最初は女子の少なさに戸惑った記憶があります。宮本：1クラス約60人に女子は2~8人くらいですね(笑)。

入江：でも半年ほどですっかり慣れました(笑)。女子同士は自然と仲良くなるし、男子も固い感じの人ばかりかと思っていたけれど、意外とにぎやかな人もいて、なにより学んだり研究したりする上で、当たり前ですが男子も女子も全くの平等なので、のびのびと研究生活を送れるのが大きいと思います。應ずることなく「私はこの研究がやりたい」と言えるしそれを叶えるための環境も整っているので、研究に集中することができます。まだやりたいことが見つからない高校生も、入学後にやりたい研究が見つかりやすいのではと思います。

宮本：ところで昼ご飯はどうしていますか？ 私は1年の時、東地区の学食ばかり使っていたのですが、2年になって西地区にある教室を使うようになり、もう1つ学食があることを知ってからはそちらもよく利用しています。

入江：緑豊かな広い敷地をもつ電通大ならではの学食で食べることが多かったのですが、最近は学生会館にあるレストランで過ごしたり、2限・3限が空いているときは駅前まで出かけたりしています。

宮本：調布駅まで徒歩5分ですし、商業施設もあるのでそこで食べたりテイクアウトをしたりもできますよね。調布は新宿へのアクセスがいいので、授業が早めに終わる日なら友だちと気になるスイーツを食べに行ったりしています。

入江：私は就職を考えて地元の広島ではなく東京の電通大を選んだのですが、新宿だけでなく都心へのアクセスが良いのも魅力ですね。授業のない週末には都内のあちこちに出かけて息抜きをしたりして、プライベートでも学生生活を満喫しています。

宮本：女子目線という学生生活を楽しむためにはそこも大切ですね。一方で、自分ではやらなかったであろうプログラミングを身につけられたり、ニュースで流れてくるサプライチェーンをめぐる環境問題を専門的に見られたりなど、電通大で学ぶ日々は自身の成長を大きく促していると感じています。

入江：授業を通して将来必要なスキルを積み重ねられることや、先生や先輩と活発なやりとりができるのも単科大学の良さだと思います。電通大には本当に多彩な研究室があり、企業と連携して共同研究を行っています。私自身、やりたい研究テーマを追求するには最適な環境だと思っているので、将来理系の研究をしたいと考えている高校生ならぜひ電通大に来てほしいと伝えたいです。



入江 佑理花さん Ⅱ類(融合系) 計測・制御システムプログラム4年  
宮本 春那さん Ⅰ類(情報系) 経営・社会情報学プログラム2年



## 匠ガールプロジェクト

電気通信大学では、女子中高生の皆さんに、理系への関心をもっといただくことで、理系分野で活躍される女性が増えることを期待しています。皆さんに理系分野の楽しさを知ってもらうために、たくさんのイベントを企画していますので、是非ご参加ください。



詳細はこちら



## 電通大ラボ体験

ラボ体験では、電通大で実際に行われている研究を体験することができます。2023年度は、触覚と視覚のVR、脳科学、インタラクティブ・アート、コンピュータシミュレーション、聴力、医療ロボット、磁石、レーザー、神経細胞、微生物、ナノテク、発光酵素、有機化学、高分子化学など多岐に渡るラボ体験を開催しました。ラボ体験の内容は毎年変わりますので、是非ウェブサイトをチェックしてみてください。

## NOW AND FUTURE / 私の今とこれから

デジタルアートについて学び、映像、音声などの表現を極めたい  
成田 遥さん Ⅰ類(情報系) メディア情報学プログラム2年

多様な学び、研究に取り組めるのが魅力です  
石田 蒼依さん Ⅱ類(融合系) 先端ロボティクスプログラム2年

教育の質の高さに期待して電気通信大学に進学  
熊澤 一葉さん Ⅲ類(理工系) 機械システムプログラム3年



学生メッセージ等の詳細はこちら



# GLOBAL EDUCATION

グローバル教育

学生交流協定締結大学

海外からの留学生数

世界 15 力国・地域 32 大学 合計 311 名

## 国際社会で活躍する人材の育成

- 留学
- 国際インターンシップ
- 各種グローバル教育
- 海外拠点・教育研究交流

電気通信大学には、グローバル人材の育成を目的とする様々なプログラムがあります。グローバルに活躍する人材に求められるのは、専門分野の技術や知識だけではなく、異文化を理解して受け入れる国際感覚や、円滑なコミュニケーションを図るための語学力が必要不可欠です。交換留学や語学留学、国際インターンシップなどのグローバル教育プログラムを通して学生の国際化を支援し、国際舞台で活躍できる学生の育成に努めています。

### GLTP

(UECグローバルリーダー育成プログラム)

学域3年次から博士前期課程にかけて行われる選抜制の修士・修士一貫教育プログラム。志望する学生の中から1・2年次の学業成績をベースに、語学力や志望理由等を総合的に判定し選抜されます。3年次前学期のラボワーク(研究室実習)を経て、通常より約半年早い3年次後学期に研究室に配属され、4年次の秋までに卒業研究を仕上げます。その後、4年次後学期もしくは博士前期課程在学中に、国内外の研究機関や海外の大学などで研修を行います。在学中に学外研修を経験することで、広い視野を持ち、多面的な考え方を身につけるとともに、情報理工学をリードできる総合力を養います。

### 西東京三大学連携 文理協働グローバル人材 育成プログラム

現代グローバル社会が抱えるさまざまな課題を解決するためには、人文社会科学や理工学の枠組みを越えた、分野横断型の自由な発想が求められます。西東京地区にある東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の国立三大学は近接して立地する条件を活用して、人文社会科学・理工学・農学のそれぞれの専門性と同時に、分野横断の協働の視点を持つ実践型グローバル人材の育成プログラムを立ち上げ、人文社会科学や理工学の枠組みを越えて協働する新しい教育を提供します。



### UECバースポート プログラム

自主研究を通して、研究者・技術者としての能力を養成するための選抜制プログラムです。履修者は希望に基づき1年次の成績によって選抜され、先進的な実験設備の利用や学外研修などの機会が提供されます。1年次には、学内外の研究者から最先端の科学・技術について学び、2年次以降は研究者や大学院生の指導のもとで自主研究を行います。研究の成果は大学間連携発表会や、全国の大学生を対象とした研究発表会などで発表します。科学・技術の進歩や発展を自らイニシアティブを取って実現するための「突破力」を学ぶために、自らの専門分野を展開・発展させる力のみならず、専門外の他者へ説明や討論ができる力を高めます。

### 留学

多様性や異文化への理解が自分の視野を広げます  
名執 陸さん 情報学専攻メディア情報学プログラム 博士前期1年 GLTP6期生

### GLTP

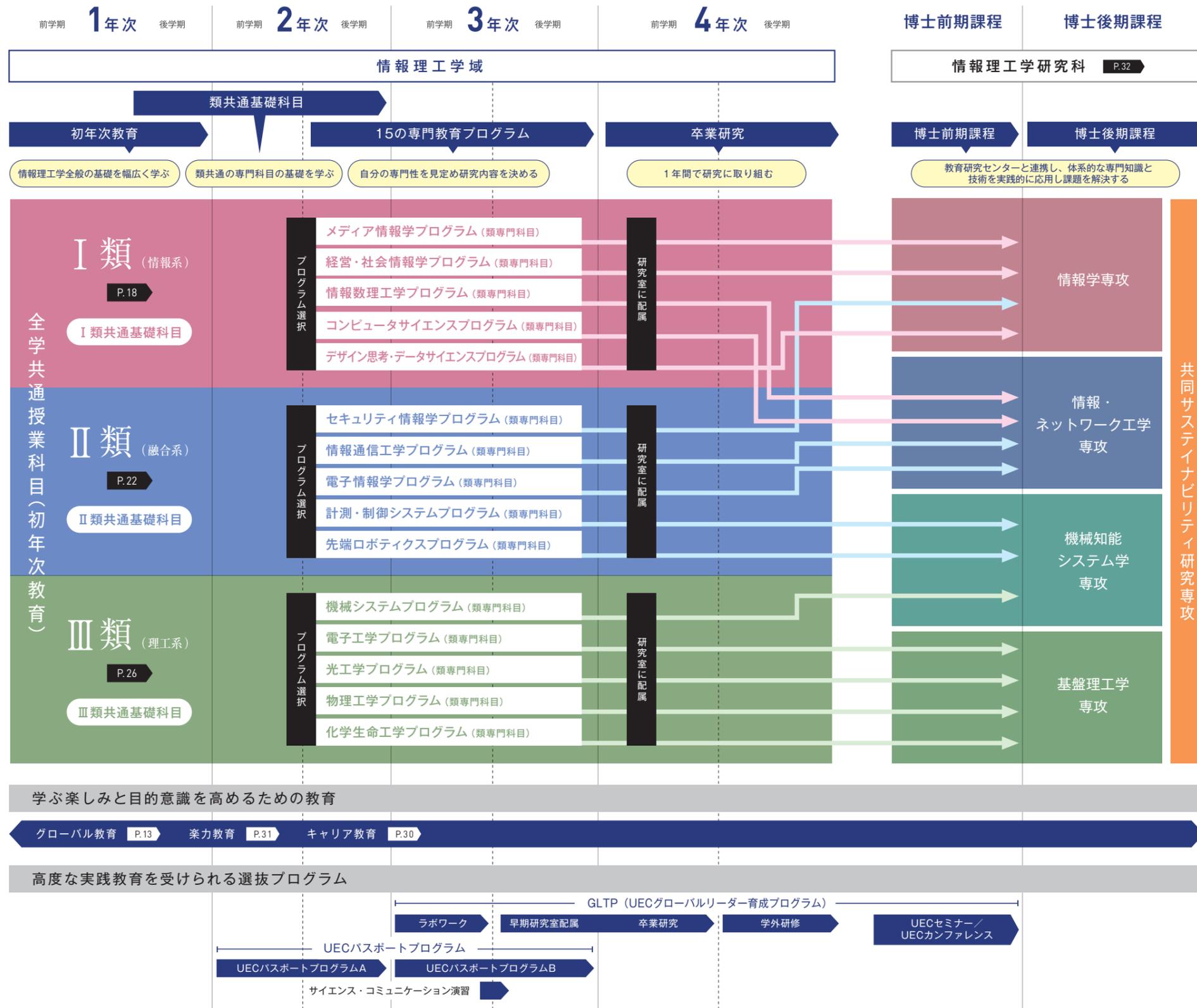
自分を、より広く深く成長させてくれるプログラムです  
大鷹 有亮さん 基礎理工学専攻 物理工学プログラム 博士前期2年 GLTP5期生

### 学生メッセージ等の 詳細はこちら



# 電通大の教育制度と学修プロセス

電気通信大学では、高度な専門性と幅広い知識・教養を兼ね備え、世界で活躍できる科学者・技術者となるための教育制度を整えています。初年次には全学生が情報理工学全般の基礎を学ぶことで広い視野を育み、専門性の基礎と、関連する分野の知識を修得。次に配属される「専門教育プログラム」では、大学院博士前期課程（修士課程）との一貫性に配慮したカリキュラムで高度な専門性を身につけます。



# 初年次教育

情報理工学の基礎を固めつつ、研究者・技術者に必要な幅広い教養を身につける

1年次は「類」の垣根を越えて、異なる専門分野に興味を持つ学生が机を並べて全学生共通の科目を履修します。ともに学ぶことで、他人の考え方や志向に影響を受け、また協同作業を通して幅広い視野が身につきます。それぞれの「類」に分かれても、違う視点から意見をもらえる仲間をつくる貴重な機会です。全学生共通の科目は、実験の基本や情報技術の基礎を身につける「実践教育科目」や、幅広い教養が身につく「総合文化科目」、数学・物理・化学の基礎力を確実にする「専門科目」、類共通の専門の基礎となる「類共通基礎科目」に分類されます。

## 実践教育科目

実験に必要な機器やパソコン等の基本的な操作方法の習得、レポートの書き方、考察の仕方、問題解決法などを学習するほか、大学生活における進路選択を考え、モチベーションを高める講義を実施します。

- |   |  |
|---|--|
| <b>初年次導入科目</b>  | <b>倫理・キャリア教育科目</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータリテラシー</li> <li>● 基礎科学実験A1・A2(物理)</li> <li>● 基礎科学実験B1・B2(化学)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ キャリア教育基礎</li> </ul> |

## 総合文化科目

基礎から実用的な英語修得の「言語文化科目」、健全な体作りの「健康・スポーツ科学科目」、宇宙・地球科学などの「理工系教養科目」を履修し幅広い教養と知性を備えた社会人としての技術者を育成します。

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <b>言語文化科目</b>  | <b>理工系教養科目</b>   | <b>健康・スポーツ科学科目</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語文化基礎科目Ⅰ</li> <li>● 言語文化基礎科目Ⅱ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 宇宙・地球科学</li> <li>□ 生物学</li> <li>□ 材料化学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康・体力づくり実習</li> <li>● 健康論</li> </ul> |

## 専門科目

- |               |  |   |   |
|---------------|--|---|---|
| <b>理数基礎科目</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 微積分学第一</li> <li>● 線形代数第一</li> <li>● 数学演習第一</li> <li>● 物理学概論第一</li> <li>● 化学概論第一</li> <li>□ 物理学演習第一</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 微積分学第二</li> <li>● 線形代数第二</li> <li>● 解析学</li> <li>● 数学演習第二</li> <li>※ 物理学概論第二</li> <li>※ I類は選択科目、II類・III類は必修科目</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎プログラミングおよび演習</li> <li>□ 物理学演習第二</li> <li>□ 化学概論第二</li> </ul> |
|---------------|--|---|---|

## 類共通基礎科目

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <b>I類 (情報系)</b>  | <b>II類 (融合系)</b>                                       | <b>III類 (理工系)</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 離散数学</li> <li>● 情報領域演習第一</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 力学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 力学</li> <li>● 力学演習</li> </ul> |



STUDENT'S VOICE  
専門分野に進むための大きな力となりました  
海保 樹季さん  
III類(理工系)1年



# I 類

## (情報系)

デザイン思考・データサイエンスプログラム  
 コンピュータサイエンスプログラム  
 情報数理工学プログラム  
 経営・社会情報学プログラム  
 メディア情報学プログラム

### 情報に関わる幅広い分野を学び、次世代を支える人材を育成

「I類(情報系)」では、情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様で広範。情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、通信ネットワークの分野など、それぞれ独立した学問として発展。一方で情報に関わる全ての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。専門分野に軸足を置きつつ、ハード・ソフトの両面を理解、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つため、2年次では情報分野全般に共通のコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学びつつ専門分野の基礎を習得、3年次からは「メディア情報学」「経営・社会情報学」「情報数理工学」「コンピュータサイエンス」「デザイン思考・データサイエンス」の専門教育プログラムで専門性を高めます。



AIやIoT技術を活用した屋上スマート養蜂  
 (佐藤 証研究室)

### 学びのポイント

#### 先端AI・データサイエンスを学ぶ

すべての知識・情報がデジタル化され、フィジカル空間とサイバー空間との融合により新しい社会が構築されようとしている現代にあって、AIやデータサイエンスに代表される高度情報処理を学ぶことができます。

#### 総合コミュニケーション科学

「人と人」、「人とモノ」、「人と社会」をつなぐ多面的なコミュニケーションの高度化に貢献できる素養を身につけ、先進的かつ人にとってより快適な社会を創出します。

#### 専門教育プログラムで学ぶ

情報形態の多様化や情報量の拡大といった変化を先取りすることができるように、メディア情報学、経営・社会情報学、情報数理工学、コンピュータサイエンス、デザイン思考・データサイエンスの専門知識を習得します。

詳細はこちら



#### STUDENTS VOICE

漠然とした思いが明確な目標に、自身の大きな変化を未来の仕事に託して

アクセンチュア株式会社 内定  
 豆田 蓮 さん



#### GRADUATES VOICE

苦勞して学んだ数学とプログラミング、そこで得た忍耐力が社会人としての力に

東京都立六本木高等学校  
 情報科教諭 高谷 真弓 さん



#### SPECIAL TALK

囲碁や将棋、カーリングなどゲームの展開をモデル化して思考過程を明らかにすることで、人工知能の発展を後押しする

コンピュータサイエンスプログラム  
 伊藤 毅志 教授 / 原 流空 さん



内定者・卒業生・  
 教員と学生の  
 対談等の詳細  
 ページはこちら



# I類

(情報系)

## プログラム(科目)紹介

### メディア情報学プログラム



#### 映像、音響、触覚などを用いた情報メディアを多面的に学ぶ

情報学を基礎とした豊かで快適な情報メディア技術の創造と応用について学びます。映像、音響、触覚などの情報処理を用いた五感メディア、人工知能やエージェント技術を用いる知的メディア、人間の感情とメディアの関わりを探る感性メディア、メディアを駆使したコミュニケーションや芸術作品の制作など、多面的に学ぶことができます。

theme パーチャルリアリティ/3Dコンピュータグラフィックス/触覚ディスプレイ/音声認識・音響オーディオ処理/自然言語処理/スポーツ情報学など

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報領域演習第三</li> <li>アルゴリズム論第一</li> <li>メディア情報学プログラミング演習</li> <li>統計学</li> <li>オペレーションズ・リサーチ基礎</li> <li>応用数学第一</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>社会情報論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス演習</li> <li>プログラミング言語実験</li> <li>オペレーティングシステム論</li> <li>幾何学概論</li> <li>情報通信システム</li> <li>人間工学</li> <li>インタラクティブシステム</li> <li>コミュニケーション論</li> <li>メディア分析法</li> <li>メディアリテラシー</li> <li>ビジュアル情報処理</li> <li>情報工学工房B</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア情報学実験</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>進化計算論</li> <li>ユビキタスネットワーク</li> <li>言語認知工学</li> <li>物体認識論</li> <li>メディア論</li> <li>音響信号処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講A</li> <li>卒業研究A</li> <li>情報工学工房C</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講B</li> <li>卒業研究B</li> </ul>

1 類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

student's memo

プロジェクションマッピングやCGなどデジタル表現技術の他、人とコンピュータを繋ぐインタラクション技術にも惹かれて選びました。学んだ理論や技術を応用してオリジナルの作品やアプリケーションを作るクリエイティブな面もあり、魅力的だと思います。

福岡 美結さん メディア情報学プログラム 博士前期1年/神奈川県立柏岡高等学校 出身



### 経営・社会情報学プログラム



#### 多様な組織での運営・管理を実践するための技法を獲得

経営・社会情報を活用して、多様な組織における運営、管理を創造的、効率的に実践するための方法論や技術を学びの対象とします。経営・社会情報の活用方法を幅広く学び、経営・社会情報システムの設計や評価に取り組むとともに、ビッグデータ、G空間情報など情報の分析・解析・調査などを駆使する際に必要不可欠な統計学、数理モデル、多変量解析、コンピュータ技術などを修得します。

theme サービス・サイエンス/ヒューマンインターフェース/制度設計/データサイエンス/ゲーム理論/ミクロ経済/リスク工学/環境科学/福祉工学など

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報領域演習第三</li> <li>アルゴリズム論第一</li> <li>統計学</li> <li>オペレーションズ・リサーチ基礎</li> <li>応用数学第一</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>社会情報論</li> <li>生産管理</li> <li>品質管理第一</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス演習</li> <li>プログラミング言語実験</li> <li>オペレーティングシステム論</li> <li>幾何学概論</li> <li>情報通信システム</li> <li>人間工学</li> <li>コミュニケーション論</li> <li>多変量解析</li> <li>オペレーションズ・リサーチ第一</li> <li>情報工学工房B</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・社会情報学実験</li> <li>品質管理第二</li> <li>オペレーションズ・リサーチ第二</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>言語認知工学</li> <li>マーケティング科学</li> <li>信頼性工学</li> <li>金融工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講A</li> <li>卒業研究A</li> <li>情報工学工房C</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講B</li> <li>卒業研究B</li> </ul>

1 類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

student's memo

統計学や多変量解析、オペレーションズ・リサーチを通して、最適な経営方針や問題解決のための意思決定の手法を学べます。数学やプログラミングの知識を活かして実社会で起きている問題を解決したり、経営に深く関わることが魅力です。今後は大学院で教育支援システムについての研究に取り組む予定です。

多田 みるりさん 経営・社会情報学プログラム 4年/東京都 私立吉祥女子高等学校 出身



### 情報数理工学プログラム



#### 様々な現象の数理的構造を解析し、問題解決につなげる

物理現象、生命現象、経済活動、知的活動、社会システム、情報システムなど現実世界の多岐にわたる現象の数理的構造を見抜き、モデル化し、コンピュータを用いて解析する技術を学びます。数値解析、高性能計算、シミュレーション、最適化、アルゴリズム解析、離散数理工学、データサイエンス、機械学習などの情報数理の基礎知識と応用力を身につけ、激変する社会の本質を見抜いて諸問題を創造的に解決する技術者育成を目指します。

theme アルゴリズム/宇宙プラズマシミュレーション/組合せ最適化/数値解析/ナノスピントロニクス/微分方程式/データサイエンス/機械学習など

student's memo

実験が難しいことを数値シミュレーションで解決することに興味があり選びました。シミュレーションを用いた物性科学など基礎的な分野からゲーム戦略の最適化まで、様々な分野に取り組んでいます。今後は大学院で脳の病気について病態のシミュレーションを研究していきたいです。

若杉 奈々子さん 情報数理工学プログラム 4年/埼玉県立越谷北高等学校 出身



2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報領域演習第三</li> <li>アルゴリズム論第一</li> <li>統計学</li> <li>オペレーションズ・リサーチ基礎</li> <li>応用数学第一</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス演習</li> <li>オペレーティングシステム論</li> <li>情報数理工学実験第一</li> <li>データサイエンス</li> <li>情報通信システム</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語処理系論</li> <li>ヒューマンインタフェース</li> <li>プログラム言語論</li> <li>データサイエンス</li> <li>応用数学第二</li> <li>グラフとネットワーク</li> <li>シミュレーション理工学</li> <li>情報工学工房B</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報数理工学実験第二A</li> <li>情報数理工学実験第二B</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>ハイパフォーマンスコンピューティング</li> <li>ゲーム情報学</li> <li>数理計画法</li> <li>離散数理工学</li> <li>計算理論</li> <li>コンピュータグラフィックス</li> <li>知的情報処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講A</li> <li>卒業研究A</li> <li>情報工学工房C</li> <li>※通年開講</li> </ul>

1 類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

### コンピュータサイエンスプログラム



#### コンピュータに関する基幹技術と理論を広く学ぶ

次世代情報化社会の創出を目指し、コンピュータとその利用に関する幅広い基幹技術と理論を学びます。カリキュラムには、コンピュータとネットワークのアーキテクチャ(設計の基本)や、ソフトウェアの解析・設計・制御手法などを学ぶ科目を配置しています。

theme データマイニング/ネットワークコンピューティング/ビッグデータ/セマンティックWeb/バイオインフォマティクス/認知科学など

student's memo

「このゲームにはどんなアルゴリズムが使われているか」などを考えることが好きで選びました。コンピュータの基幹技術や理論を深く学べることが魅力です。今後は大学院で技術や理論をさらに身につけてこの分野の発展に寄与したいと考えています。

準田 駿さん コンピュータサイエンスプログラム 4年/神奈川県立横浜翠嵐高等学校 出身



2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報領域演習第三</li> <li>アルゴリズム論第一</li> <li>統計学</li> <li>オペレーションズ・リサーチ基礎</li> <li>応用数学第一</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス演習</li> <li>オペレーティングシステム論</li> <li>コンピュータサイエンス実験第一</li> <li>データサイエンス</li> <li>情報通信システム</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語処理系論</li> <li>ヒューマンインタフェース</li> <li>プログラム言語論</li> <li>データサイエンス</li> <li>応用数学第二</li> <li>グラフとネットワーク</li> <li>シミュレーション理工学</li> <li>情報工学工房B</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータサイエンス実験第二A</li> <li>コンピュータサイエンス実験第二B</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>ハイパフォーマンスコンピューティング</li> <li>ゲーム情報学</li> <li>数理計画法</li> <li>離散数理工学</li> <li>計算理論</li> <li>コンピュータグラフィックス</li> <li>知的情報処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪講A</li> <li>卒業研究A</li> <li>情報工学工房C</li> <li>※通年開講</li> </ul>

1 類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

### デザイン思考・データサイエンスプログラム



#### AIを創り、使いこなし、AIを超えた次世代人材を養成

「どうするか?」だけではなく「何を作るか?」から考えられる人材の育成を目指し、博士前期課程までを含めた6年一貫のカリキュラムを通して、データサイエンスを実践的に学びます。統計や機械学習の理論に加えて、Kaggle等を通じた演習を重視し、技術を使いこなす力を修得します。デザイン思考、システム思考を通して価値を人々に届ける技術を学び、毎年の実習とインターンを通してイノベーション・マインドを修得します。

theme データサイエンス/推薦システム/機械学習/画像認識/ゲーム情報学/マーケティングなど

student's memo

生活を豊かにするデータサイエンス技術に興味があり選びました。モノづくりを通じて生まれたアイデアを形にできることが魅力です。海外インターンシップを通して国際的なマインド・キャリア設計を考えている人にもおすすめです。

徳武 悠さん デザイン思考・データサイエンスプログラム 博士前期1年/東京都 私立錦城高等学校 出身



2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報領域演習第三</li> <li>アルゴリズム論第一</li> <li>統計学</li> <li>メディア情報学プログラミング演習</li> <li>オペレーションズ・リサーチ基礎</li> <li>応用数学第一</li> <li>コンピュータネットワーク</li> <li>コンピュータ設計論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情報論</li> <li>形式言語理論</li> <li>情報工学工房A</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス演習</li> <li>プログラミング言語実験</li> <li>データサイエンス実践演習1</li> <li>オペレーティングシステム論</li> <li>統計学第二</li> <li>情報通信システム</li> <li>人間工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会シミュレーション</li> <li>コミュニケーション論</li> <li>多変量解析</li> <li>メディア分析法</li> <li>メディアリテラシー</li> <li>ビジュアル情報処理</li> <li>情報工学工房B</li> <li>※通年開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス実験</li> <li>デザイン思考概論</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>ユビキタスネットワーク</li> <li>言語認知工学</li> <li>メディア論</li> <li>金融工学</li> </ul>

1 類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

# Ⅱ類

## (融合系)

- 先端ロボティクスプログラム
- 計測・制御システムプログラム
- 電子情報学プログラム
- 情報通信工学プログラム
- セキュリティ情報学プログラム

### 「情報」と「理工」の融合で、 新たな学問領域に進む基礎を獲得

本学が教育・研究の二本柱とする「情報」と「理工」では融合も進んでおり、「Ⅱ類(融合系)」では新たな学問領域に進むための基礎を学びます。例えば、「医用工学」は医学と工学で先端医療を牽引。MRIには、画像技術、コンピュータ制御、エレクトロニクス機器などの技術が融合。「ロボティクス」は、機械・電子工学に高度な知覚・制御・コミュニケーション・人工知能技術を集約。「電力スマートグリッド」は、情報通信と電力技術で地球環境問題の解決に貢献します。「Ⅱ類(融合系)」では、異分野融合領域での最先端科学・技術を学び、2年次以降、「セキュリティ情報学」「情報通信工学」「電子情報学」「計測・制御システム」「先端ロボティクス」の5つの専門教育プログラムで専門性を高めます。

## 学びのポイント

### 情報セキュリティに強くなる

安全な社会基盤の要となる情報セキュリティの発展を目指し、安全性に対する脅威に対抗する技術・管理・運用法、理論をハード・ソフトの両面から学べます(セキュリティ情報学プログラム)。

### 通信・電子システムに強くなる

未来の通信システムや、用いられる電子情報システムの基礎となる理論やデバイス・回路・システムについて、プログラミングや実験・演習等を通して学べます(情報通信工学プログラム、電子情報学プログラム)。

### メカトロニクスに強くなる

計測・制御・信号処理・ロボット工学を核として、家電やロボット等の様々な機器の制御・生体情報計測と処理・人と機械のインターフェース等を講義と実習を通して学べます(計測・制御システムプログラム、先端ロボティクスプログラム)。

詳細はこちら



### STUDENTS VOICE

電通大で学んだ自信から「便利なソフトウェアを作りたい」という夢が広がった

株式会社ゆめみ 内定  
須長 淳也 さん



### GRADUATES VOICE

電通大での学びが力となり仕事の可能性が広がっています

株式会社SUBARU  
技術本部 ADAS開発部 町田 一綺 さん



### SPECIAL TALK

自分らしい視点や強みを活かすことで、一歩先を行く研究が可能になる

電子情報学プログラム  
大谷 基允 さん/野村 英之 教授



内定者・卒業生・  
教員と学生の  
対談等の詳細  
ページはこちら



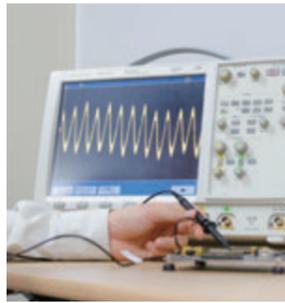
制御工学からモビリティ、セキュリティ、  
エネルギー技術の革新を目指す  
(澤田 賢治研究室)

# II類

(融合系)

## プログラム(科目)紹介

### セキュリティ情報学プログラム



#### サイバー空間と実世界の脅威に対抗する技術や管理を学ぶ

実世界のあらゆる情報を取り込み、処理する、高信頼、安全な社会基盤としてのインターネットや情報セキュリティの発展を目指し、「サイバー空間と実世界の安全性に対する脅威」に対抗する技術や管理・運用法、理論をハード、ソフトの両面から学びます。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、ロボティクス、コンテンツ、暗号理論、情報理論、代数学などを総合的に学べる科目を配置しています。

**theme** 代数学/離散数学/暗号理論/情報理論/情報セキュリティ/ネットワークセキュリティ/システムセキュリティ/プライバシー保護・個人情報保護

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習</li> <li>□ 応用数学B</li> <li>□ 数理統計</li> <li>□ 計算機アーキテクチャー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データサイエンス演習</li> <li>● プログラミング言語実験</li> <li>● 情報通信システム</li> <li>□ 離散数学応用</li> <li>□ アルゴリズム論</li> <li>□ メディアネットワーク</li> <li>□ オペレーティングシステム</li> <li>□ コンピュータネットワーク</li> <li>□ データベース論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ情報学実験</li> <li>□ ユビキタスネットワーク</li> <li>□ 暗号理論</li> <li>□ ハードウェアセキュリティ</li> <li>□ ソフトウェアセキュリティ</li> <li>□ コンテンツセキュリティ</li> <li>□ ネットワークセキュリティ</li> <li>□ デジタル信号処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講B</li> <li>● 卒業研究B</li> </ul>

II類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

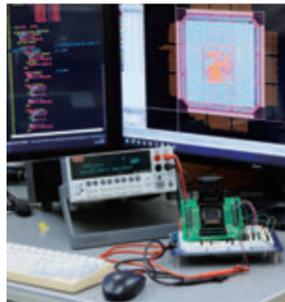
student's memo

情報セキュリティ技術を学んで安心できる情報社会を作りたいと思い選びました。情報システムにおけるセキュリティ上の脅威とそれに対する対処方法を、さまざまな視点から体系的に学ぶことができます。今後は、様々な情報セキュリティ上の課題を解決していきたいと思っています。



大谷 孟宏さん セキュリティ情報学プログラム 博士前期2年/東京都私立聖学院高等学校 出身

### 情報通信工学プログラム



#### 次世代通信システム構築の理論と技術を身につける

未来の通信システムを構築するため、情報理論、通信理論、符号化技術、ネットワーク理論、暗号技術などの理論と、ワイヤレスや光情報伝送のためのシステム・デバイス・回路の基本設計法や通信ネットワーク設計・構築技術などを身につける科目を総合的に配置しています。

**theme** 情報理論(量子系を含む)/ワイヤレス通信・ネットワーク/光通信・ネットワーク/集積回路/宇宙科学

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用数学B</li> <li>● 基礎演習B</li> <li>● アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習</li> <li>● 電磁気学第一</li> <li>● 回路システム学第一</li> <li>■ 数理統計</li> <li>■ 基礎情報通信</li> <li>■ 論理回路学</li> <li>■ 基礎電子学</li> <li>■ 計算機アーキテクチャー</li> <li>□ 電子工学工房</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データサイエンス演習</li> <li>● 電磁気学第二</li> <li>● 回路システム学第二</li> <li>● 情報通信工学実験A</li> <li>■ 情報理論</li> <li>■ 信号処理論</li> <li>■ コンピュータネットワーク</li> <li>□ 量子と情報</li> <li>□ 宇宙通信工学</li> <li>※通年3・4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報通信工学実験B1</li> <li>● 情報通信工学実験B2</li> <li>■ 電子回路学</li> <li>□ 符号理論</li> <li>□ 伝送回路論</li> <li>□ 電磁気学</li> <li>□ 光通信工学</li> <li>□ 通信システム学</li> <li>□ 線形システム理論</li> <li>□ 計測工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>□ 暗号と符号化の数理</li> <li>□ 集積回路学</li> <li>□ 画像処理工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講B</li> <li>● 卒業研究B</li> <li>□ 通信法規</li> </ul>

II類共通基礎科目 ● 必修科目 / 類専門科目 ● 必修科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

student's memo

5Gに代表される通信技術に興味があり選びました。情報伝送における情報理論やデバイス設計に必要な電子回路、論理回路、情報を伝送する電磁波など総合的に学べるのが強みです。現在はハードウェアシステム設計の研究室で画像処理を行う集積回路の作成を目指しています。



齋藤 香太さん 情報通信工学プログラム 3年/東京都立小山台高等学校 出身

### 電子情報学プログラム



#### 電子・情報・通信システムの開発に必要な知識を習得

音響・画像・知能情報処理・電磁波伝送・宇宙電波観測・情報伝送ネットワークなどに用いられる電子デバイス、電子情報システムの基礎を学び、さらにプログラミングや電子回路などの実験・演習を行います。

**theme** 音響・画像・知能情報処理/計測・通信工学/宇宙・地球電磁環境/環境電磁工学・マイク/ロ波工学/電子・光デバイス

student's memo

昔から宇宙が好きで、宇宙通信分野を学べるので選びました。面見のいい先生が多く、また他プログラムと比べて、無線従事者資格の取得や資格試験の一部免除等に繋がる単位が取得しやすいところが魅力です。



坂元 希優さん 電子情報学プログラム博士前期1年/東京都立富士高等学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用数学B</li> <li>● 基礎演習B</li> <li>● アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習</li> <li>● 論理回路学</li> <li>● 回路システム学第一</li> <li>■ 数理統計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報通信と符号化</li> <li>■ 基礎電子学</li> <li>■ 計算機アーキテクチャー</li> <li>■ 電磁気学第一</li> <li>□ 電子工学工房</li> <li>※通年1~4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データサイエンス演習</li> <li>● 回路システム学第二</li> <li>● 電子情報学実験A</li> <li>● 電磁気学第二</li> <li>■ 情報理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 信号処理論</li> <li>□ 量子と情報</li> <li>□ コンピュータネットワーク</li> <li>□ 宇宙通信工学</li> <li>※通年3・4年次開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子回路学</li> <li>● 電子情報学実験B1</li> <li>● 電子情報学実験B2</li> <li>□ 伝送回路論</li> <li>□ 電磁気学</li> <li>□ 電子機器システム学</li> <li>□ 線形システム理論</li> <li>□ 計測工学</li> </ul>

II類共通基礎科目 ● 必修科目 □ 選択科目 / 類専門科目 ● 必修科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 ● 必修科目

### 計測・制御システムプログラム



#### 計測や制御、信号処理技術に関するシステムの創出を学ぶ

計測・制御、信号処理技術を核とし、家電・情報機器、自動車、航空宇宙機器、プラントなどの制御、高度レーダ計測機器や生体情報計測に基づく医療機器など、賢くて人間にやさしい先端システムの創出を学びます。

**theme** 計測・信号処理/制御システム・セキュリティ/生体計測・医用工学/脳機能計測・脳情報処理/感覚・知覚・運動メカニズム

student's memo

自動車やロボットなど暮らしに役立つ機械を制御する方法を学べ、宇宙工学や医用工学など、様々な分野に応用されていることが魅力です。今後は、ここで学んだことを活かし、人に寄り添った機械の開発を行いたいと考えています。



猪俣 聡さん 計測・制御システムプログラム 4年/兵庫県西宮市立西宮東高等学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械力学および演習</li> <li>● 材料力学および演習</li> <li>● メカニクス</li> <li>● 応用数学B</li> <li>■ 計算機アーキテクチャー</li> <li>■ 計算機工学</li> <li>■ プログラミング演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機械計測工学</li> <li>□ 数理統計</li> <li>□ 論理回路学</li> <li>△ アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習</li> <li>△ 基礎演習B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎制御工学</li> <li>● 熱力学および演習</li> <li>● メカトロニクス基礎実験A</li> <li>● マシンデザインA</li> <li>■ 電気電子計測</li> <li>■ 加工学および演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 材料工学</li> <li>■ メカトロニクス</li> <li>□ 知能ロボット工学</li> <li>□ 生産システム工学</li> <li>□ 生体システム工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>□ 自動車工学</li> <li>□ 航空宇宙工学</li> </ul>

II類共通基礎科目 ■ 選択必修科目 △ 自由科目 / 類専門科目 ● 必修科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 □ 選択科目

### 先端ロボティクスプログラム



#### ロボット工学を核にした広い技術を身につける

人間社会と共存する新しいロボティクスを目指し、ロボットのメカニクスと知的制御、脳や筋電による機械の操作、知覚情報のセンシングと処理、ヒューマンロボットインタラクション、医用福祉ロボット技術を学びます。

**theme** 生物模倣・生物超越ロボット/空飛ぶスマートロボット/作業支援・協働ロボット/医療・福祉ロボティクス/認知発達ロボティクス

student's memo

生体信号を利用して機械を操作する分野に興味がありました。持続可能な社会と協調する新しいロボットやシステムの開発に携わる機会が多いのが魅力です。将来はヒトの筋電を利用したより良いロボット義手の開発を行いたいです。



中村 裕哉さん 先端ロボティクスプログラム 4年/東京都立日本工業大学駒場高等学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械力学および演習</li> <li>● 材料力学および演習</li> <li>● メカニクス</li> <li>● 応用数学B</li> <li>■ 計算機アーキテクチャー</li> <li>■ 計算機工学</li> <li>■ プログラミング演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 数理統計</li> <li>□ 論理回路学</li> <li>□ 機械計測工学</li> <li>△ アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習</li> <li>△ 基礎演習B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロボットの機構と力学</li> <li>● 人間機械システム</li> <li>● メカトロニクス基礎実験A</li> <li>● マシンデザインA</li> <li>■ 基礎制御工学および演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 材料工学</li> <li>■ メカトロニクス</li> <li>□ 現代制御工学</li> <li>□ デジタル信号処理</li> <li>□ 生産システム工学</li> <li>□ 生体システム工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>□ 自動車工学</li> <li>□ 航空宇宙工学</li> </ul>

II類共通基礎科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目 △ 自由科目 / 類専門科目 ● 必修科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目 / データサイエンス科目 □ 選択科目

# Ⅲ 類

(理工系)

- 化学生命工学プログラム
- 物理学プログラム
- 光工学プログラム
- 電子工学プログラム
- 機械システムプログラム

## 新機能を持つ物質やデバイスの 探究を通じて未来社会を創造

「Ⅲ類(理工系)」で学ぶ領域に共通していることは、これまでにない新しい機能を持つ物質やデバイスの創造とそのメカニズムの起源を探求し、人間と環境に調和する未来社会の創造に貢献する学問分野であることです。これらの学問分野は、次世代のものづくり、カーボンニュートラルの達成、量子技術の実用化、情報や融合分野の要素技術、そしてそれらの発展を促進する様々な基盤技術を支えています。また、人類の未来の開拓に不可欠な、人間を含む動植物の生体機能の解明、高度な機能を備えた化学物質の創製や産業応用も含まれます。2年次後学期以降の専門教育プログラムは、理工学全般の基盤となる「機械システム」「電子工学」「光工学」「物理学」「化学生命工学」を網羅的に包含し、広範かつ多様であることが特徴です。

### 学びのポイント

#### 広範かつ多様な学び

機械システム、電子工学、光工学、物理学、化学生命工学で構成される専門教育プログラムによる幅広い学びの機会の提供により、変動する社会に適応し、新たな価値を生み出すための基礎力が身につきます。

#### 学びからアウトプットへ

基礎から応用にわたり、手を動かすことを重視したオリジナルの実践的な科目が豊富に存在し、学びを実社会へのアウトプットに結びつけるプロセスを体得することができます。

#### 未来を拓く人材の育成

多様なバックグラウンドや世界を牽引する研究力を持つ教員の指導による、最先端の研究課題への取り組みを通じて、様々な社会問題の解決や未来の科学技術の開拓に挑戦する人材を育成しています。

詳細はこちら



#### STUDENTS VOICE

研究活動で得た経験や身につけた学びが、進路決定への大きな力に

ニプロ株式会社 内定  
藤江 香雲 さん



#### GRADUATES VOICE

研究で成果を出すための考え方を電通大で学ぶことができました

住友重機械工業株式会社  
技術本部 技術研究所 低温度量子技術部  
出村 健太 さん



#### SPECIAL TALK

私たちの生活すべてに関係している研究を通して、カーボンニュートラルなど世界的な課題解決を目指す

機械システムプログラム  
榎木 光治 准教授  
望月 建志 さん / 中野 颯士 さん



内定者・卒業生・  
教員と学生の  
対談等の詳細  
ページはこちら



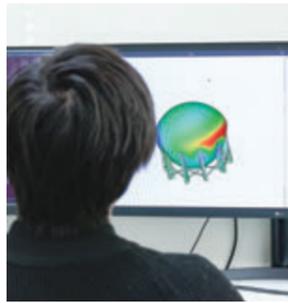
レーザー光の圧力でナノサイズの微粒子を選別抽出する実験の様子 (庄司 暁研究室)

# Ⅲ 類

(理工系)

プログラム(科目)  
紹介

## 機械システムプログラム



### 機械設計に必要な機械工学の基礎と解析手法を身につける

機械設計における計算機支援、創造的加工法の開発、生産システムの自動化・高度化などに関する基礎技術、及び材料の強度と破壊、熱と流体に関する物理と制御、計算力学と数値シミュレーションなど、機械工学の基礎知識と解析手法を身につけます。

**theme** 設計・生産の情報化/材料力学/熱と流体の物理と制御/数値シミュレーション/先進的加工法の開発など

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 材料力学および演習</li> <li>● メカニクス</li> <li>● 機械力学および演習</li> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● 基礎電子回路</li> <li>■ プログラミング演習</li> <li>□ 計算機工学</li> <li>□ 分子生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知能機械工学基礎実験第一</li> <li>● マシンデザインA</li> <li>● 設計基礎工学</li> <li>● 熱力学応用</li> <li>● 機構要素設計</li> <li>■ 加工学および演習</li> <li>■ 基礎制御工学および演習</li> <li>□ ロボットの機構と力学</li> <li>□ 人間機械システム</li> <li>□ 電気電子計測</li> <li>□ データサイエンス演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知能機械工学基礎実験第二</li> <li>● マシンデザインB</li> <li>● 流体力学および演習</li> <li>■ 生産システム工学</li> <li>■ 材料工学</li> <li>■ メカトロニクス</li> <li>□ 知能ロボット工学</li> <li>□ 現代制御工学</li> <li>□ デジタル信号処理</li> <li>□ 生体システム工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>□ 自動車工学</li> <li>□ 航空宇宙工学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講B</li> <li>● 卒業研究B</li> </ul>

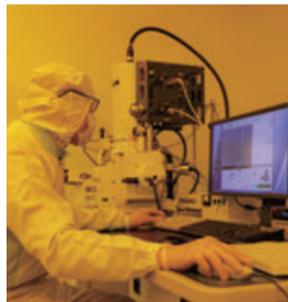
student's memo

機械系だけでなく幅広い分野の実験やプログラミングに関する授業もあるので、自分の興味を広げていくことができます。学んだ知識が研究でも活かされるため、現在のテーマである多粒子の力学シミュレーションに関する研究にも自信をもって取り組んでいます。



脇 昇太郎さん 機械システムプログラム 4年/神奈川県立川和高等学校 出身

## 電子工学プログラム



### デバイスの設計・開発に必要な基礎力と実践的な応用力を身につける

電子素子(デバイス)の設計・開発を担う人材育成を目指して、半導体をはじめとする電子材料やデバイスの基礎からシステム応用までをカバーするカリキュラムを用意しています。企業や研究所の研究開発現場で通用する電子工学の基礎力と実践的な応用力を身につけます。

**theme** 電子・光デバイス/超伝導・量子効果デバイス/エネルギー変換、触媒/材料・プロセス、集積化/ナノサイエンス

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● 基礎電子回路</li> <li>● 理工学基礎実験</li> <li>● 波動と光</li> <li>□ プログラミング演習</li> <li>□ 計算機工学</li> <li>□ 分子生物学</li> <li>□ 基礎物理学</li> <li>□ 無機化学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子工学実験第一</li> <li>● 電気回路</li> <li>● 電気回路演習</li> <li>● 固体電子論</li> <li>● 論理回路学</li> <li>□ 量子力学第一</li> <li>□ 量子力学第一演習</li> <li>□ 回折結晶学</li> <li>□ データサイエンス演習</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> <li>△ 上級コンピュータ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子工学実験第二</li> <li>● 半導体工学</li> <li>● 電子回路学</li> <li>● 電子デバイス</li> <li>□ 光電子材料学</li> <li>□ 熱・統計物理学基礎</li> <li>□ 熱・統計物理学応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 計算数理工学</li> <li>□ 量子エレクトロニクス</li> <li>□ 線形システム理論</li> <li>□ 画像工学</li> <li>□ デジタル信号処理</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>□ 電磁波工学</li> <li>□ 環境工学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムC</li> </ul>

student's memo

電子デバイスに欠かせない半導体は現代社会において需要を増えています。基本的な仕組みから最先端の応用例まで専門的に学べるだけでなく、光学や材料工学など分野を横断して知識を深め、デバイスについて学べるのは強みだと感じています。



久我 友里華さん 電子工学プログラム 4年/東京都私立桜蔭高等学校 出身

## 光工学プログラム



### 精密計測やレーザーなど光学技術を幅広く学び、次世代光工学の発展を担う人材を育成

光波の性質や物質との相互作用を理解し、精密計測やレーザー技術、太陽光発電や光メモリを実現する光機能材料、光通信やロボティクスを支える光機能素子やディスプレイ装置など、光を用いた技術を幅広く学びます。

**theme** 情報フォトニクス/ナノフォトニクス/太陽電池/光精密計測/量子情報/視覚機能センサ

**student's memo**  
「光」をキーワードにナノ工学、情報、材料、生命科学など先端科学技術を学ぶ中で、「光」が社会構造や産業に広く繋がっていることを実感する日々です。温暖化など人類の未来に関わる課題に貢献できるよう研究を深めていきたいです。



橋本 彩香さん 光工学プログラム 博士前期 2年/埼玉県私立大宮開成高等学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● 基礎電子回路</li> <li>● 理工学基礎実験</li> <li>● 波動と光</li> <li>□ プログラミング演習</li> <li>□ 計算機工学</li> <li>□ 分子生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 基礎物理学</li> <li>□ 無機化学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光工学実験第一</li> <li>● 固体電子論</li> <li>● 基礎量子工学</li> <li>● 電磁波工学</li> <li>□ 生体計測工学</li> <li>□ データサイエンス演習</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> <li>△ 上級コンピュータ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 熱・統計物理学応用</li> <li>□ 半導体工学</li> <li>□ 電子回路学</li> <li>□ 計算数理工学</li> <li>□ デジタル信号処理</li> <li>□ 高分子有機化学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 卒業研究A</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムC</li> </ul>

## 物理工学プログラム



### 未来を拓く量子科学を体系的に学び、新たな学理と技術を探究する

光、原子、分子さらにはマクロな物質で発現する多彩な量子現象を体系的に理解し、理学的視点と工学的手法を幅広く学びます。最先端の研究に取り組みながら、革新的な材料開発や量子技術の創造を目指します。

**theme** 原子・分子・光科学/極低温の原子気体/量子物性の開拓と制御/光の量子力学的性質/量子情報/超伝導・磁性/摩擦現象など

**student's memo**  
統計力学や量子力学などに興味があり選びました。最先端の設備環境で、物理学実験やプログラミング演習を通じて実践的な経験を積めるのが魅力です。現在は相転移に関するシミュレーションの研究を行っています。



西田 葵さん 物理工学プログラム 4年/埼玉県私立本庄東高等学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● 基礎電子回路</li> <li>● プログラミング演習</li> <li>● 理工学基礎実験</li> <li>● 波動と光</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 計算機工学</li> <li>□ 分子生物学</li> <li>□ 基礎物理学</li> <li>□ 無機化学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物理学実験第一</li> <li>● 解析力学</li> <li>● 量子力学第一</li> <li>● 量子力学第一演習</li> <li>● 固体物理学第一</li> <li>■ 回折結晶学</li> <li>■ 固体電子論</li> <li>□ データサイエンス演習</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> <li>△ 上級コンピュータ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物理学実験第二</li> <li>● 熱・統計物理学基礎</li> <li>● 熱・統計物理学応用</li> <li>● 固体物理学第二</li> <li>■ 量子力学第二</li> <li>■ 量子力学第二演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 量子エレクトロニクス</li> <li>□ 半導体工学</li> <li>□ 電子回路学</li> <li>□ 計算数理工学</li> <li>□ 電子デバイス</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムB</li> </ul>

## 化学生命工学プログラム



### 化学と生物学を総合的に学び未来型ものづくりを担う人材を育成

資源の循環や医療の向上に資する「未来型ものづくり」を担う人材を育成。生体機能をもとにした電子・光・磁気機能材料や医療技術、バイオテクノロジーなどの開発に必要な化学と生物学を幅広く学びます。

**theme** 機能分子科学/バイオイメージング/光化学/神経科学/創薬システム工学/運動生理学

**student's memo**  
生物の仕組みを解き明かす基礎研究からナノ材料の開発などの応用研究まで、化学・生命科学に関わる幅広い研究が可能です。化学反応や生命現象を工学的な視点で解析・応用するスキルを身につけられるのが魅力だと感じています。



上村 直輝さん 化学生命工学プログラム博士前期 2年/山口県国立宇部工業高等専門学校 出身

2年次(後学期)	3年次(前学期)	3年次(後学期)	4年次(前学期)	4年次(後学期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分子生物学</li> <li>● 基礎物理学</li> <li>● 無機化学</li> <li>● 理工学基礎実験</li> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● 基礎電子回路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プログラミング演習</li> <li>■ 波動と光</li> <li>□ 計算機工学</li> <li>△ UEC/バスポートプログラムA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化学生命工学実験第一</li> <li>● 化学生命工学演習第一</li> <li>● 物理化学第一</li> <li>● 有機化学第一</li> <li>● 生物化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 細胞生物学</li> <li>● 機器分析学</li> <li>● 生体計測工学</li> <li>□ データサイエンス演習</li> <li>□ UEC/バスポートプログラムB</li> <li>△ 上級コンピュータ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化学生命工学実験第二</li> <li>● 化学生命工学演習第二</li> <li>● 神経科学</li> <li>● 物理化学第二</li> <li>■ 有機化学第二</li> <li>■ 高分子有機化学</li> </ul>

# 先端工学基礎課程（夜間主コース）

先端工学基礎課程（夜間主コース）は、昼間働きながら情報理工学の先端分野を学びたいという、社会人のための課程です。平日の夜間と土曜日に開講していますが、昼間にある授業も一部履修することができます。1・2年次ではものづくりマインドを養成しながら工学基礎を徹底して学び、3年次からは

情報、メディア、通信、電子、機械、制御に関する専門科目へと進みます。卒業研究や大学院進学によって専門性を追求することも可能です。産業界における技術的課題について、その内容を工学的に読み解いて解決手段を探し出す基礎力と、様々な分野への適応力を身につけます。

授業科目 ● 必修科目 □ 選択科目

1年次	2年次	3年次	4年次
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Academic Written English I</li> <li>● Academic Spoken English I</li> <li>● 健康実践論</li> <li>● アカデミックリテラシー</li> <li>● コンピュータリテラシー</li> <li>● 基礎微積分学第一</li> <li>● ベクトルと行列第一</li> <li>● 基礎物理学第一</li> <li>● Academic Written English II</li> <li>● Academic Spoken English II</li> <li>● 基礎物理学実験</li> <li>● 基礎化学実験</li> <li>● 基礎微積分学第二</li> <li>● ベクトルと行列第二</li> <li>● 基礎物理学第二</li> <li>● 基礎プログラミングおよび演習</li> <li>● 離散数学</li> <li>□ 化学結合と構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Academic English for the 2nd Year I</li> <li>● 総合コミュニケーション科学</li> <li>● 応用数学第一</li> <li>● プログラミング通論および演習</li> <li>● 論理回路学</li> <li>● 電磁気学および演習</li> <li>● Academic English for the 2nd Year II</li> <li>● 応用数学第二</li> <li>● 確率統計</li> <li>● 電気回路学および演習</li> <li>● 基礎電子工学</li> <li>□ 環境科学</li> <li>□ 基礎解析学</li> <li>□ 基礎物理学第三</li> <li>□ アルゴリズム・データ構造および演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Academic Presentation in English</li> <li>● 技術課程演習第一</li> <li>● アナログ回路実験</li> <li>● プログラミング実験</li> <li>● Academic Writing in English</li> <li>● 技術課程演習第二</li> <li>● 計算機工学</li> <li>● 信号処理論</li> <li>● 電磁波工学</li> <li>● 組み込みシステム</li> <li>● 情報学実験</li> <li>● 知能機械工学実験</li> <li>□ 情報通信と符号化</li> <li>□ 制御工学</li> <li>□ 設計工学</li> <li>□ 電子回路学</li> <li>□ 回路システム学</li> <li>□ データサイエンス演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講A</li> <li>● 輪講B</li> <li>□ 知的財産権</li> <li>□ 情報メディアシステム</li> <li>□ 通信・ネットワーク</li> <li>□ 計測工学</li> <li>□ メカトロニクス</li> <li>□ 先端トピックス</li> <li>□ 卒業研究A</li> <li>□ 技術者倫理</li> <li>□ 知能システム</li> <li>□ 暗号情報セキュリティ</li> <li>□ ロボティクス</li> <li>□ ヒューマンインタフェース</li> <li>□ 卒業研究B</li> </ul>

## キャリア教育

産業界と連携した“学び”と“社会”のつながりを理解するための教育

電気通信大学では1年次からキャリア教育をスタート。学生生活の初期から社会や職業への関心を高め、就学と社会のつながりを理解し学びに対する目的意識を育みます。2年次以降も社会や職業との接点を多数設け、キャリアデザインを具体化する環境を整えており、キャリア教育の専任教員に社会経験豊富な教育ボランティアも加わるなど学生をきめ細かくサポートします。理工系大学としては先駆的な体制とシステムで、電通大の卒業生・修了生は社会から高い評価を得ています。



人材の育成  
キャリア教育の確立

### 社会人講師による講義

産業界で活躍する社会人講師を招いた講義で、産業界から求められる人材像について理解を深めます。

#### ■令和5年度の講師所属先（50音順）

株式会社アイデミー/identity academy/旭化成株式会社/旭化成メディカル株式会社/株式会社アマダ/アンダーソン・毛利・友常 法律事務所/エイムネクスト株式会社/エクシオグループ株式会社/北川電機株式会社/株式会社Goals/酒井国際特許事務所/株式会社zooba/セーファー株式会社/株式会社SEN/ソニー株式会社/株式会社東芝/株式会社東芝インフラシステムズ/株式会社TOMUSHI/トライボットワークス株式会社/日本電気株式会社/原田忠則特許事務所/株式会社日立製作所/株式会社PitPa/FastLabel株式会社/株式会社photosynth/北京瑞盟知識産権代理有限公司/VECTOR合同会社/マイスター特許事務所/Mantra株式会社/ユビ電株式会社/楽天株式会社

### 企業現場を見学（夏季集中講座）

現場見学や若手研究者・技術者との懇談を通して、学生時代に学ぶべきことの理解を深め、目的意識を高めます。エンジニアとして働く先輩方との質疑応答・懇談から、「社会を知る」とともに「目標設定」および「今後の行動を考える」ことを目的に実施。事前課題に取り組み、見学日は午前中に企業研究ワークショップを行い、午後の事業所見学で働く現場（職業）と企業・団体等の実態を理解します。最終日は振り返りワークショップを行います。

#### ■令和5年度の見学先（50音順）

株式会社朝日新聞社/株式会社アマダ/住友電気工業株式会社/独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）/株式会社大和総研/東京ガスネット株式会社/特許庁/TOPPANエッジ株式会社/日産自動車株式会社/日本電気株式会社（NEC）/株式会社三菱UFJ銀行/株式会社村田製作所/横河電機株式会社

### インターンシップ

インターンシップは企業や各種機関で行う就業体験で、履修対象学生は、主に学域3年次および博士前期課程1年次です。本学インターンシップ科目の特徴は、大学推薦制インターンシップの実施、90時間以上の長期間インターンシップへの参加を求めていることです。ほとんどすべての学生がインターンシップ体験を有意義であったと回答しており、「就職先を考える機会を得た」、「働く」ことのイメージを得た、「自分に不足している知識・スキルがわかった」ことをその理由としています。

インターンシップ受入企業・機関（国内・海外）

令和5年度 105社

令和4年度 111社

令和3年度 69社

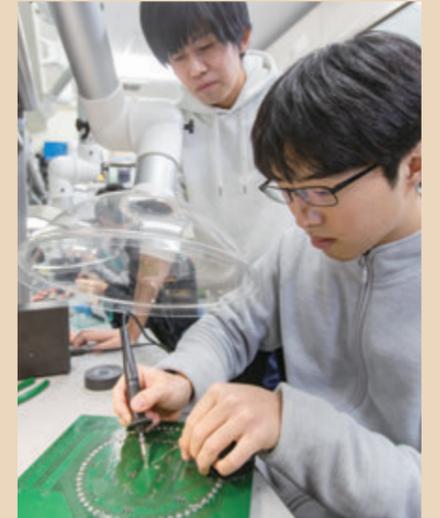
※令和3年度は新型コロナウイルスの影響がありました。

全学年・全類・課程の学生が参加できる

## 楽力教育

### ものづくり体験を通して、自立した技術者の育成を目指す

楽力（がくりょく）教育は、類や年次を越えたプログラムで、エレクトロニクスやロボット、IT関連のものづくり体験を通して、自立した技術者の育成を目的としています。学域生にとっては学内外のコンテストに出品するなど、社会にコンタクトしてフィードバックしながら講義で学んだことを実践する貴重な場でもあります。このプログラムでは、学生たちは自らアイデアを練り、自分の手でロボットや電子回路、ソフトウェアなどを創作し、ものづくりの楽しさや達成感を体験します。



### ものづくりの楽しさこそがイノベーションの原点

楽力教育の「楽」の文字に込められているのは、「自ら楽しみながら学ばなければ、柔軟な応用力のある専門知識や技術は身につかない」という思いです。楽力教育は主体的に興味を持ち、人と協働し、楽しみながら知識や技術を修得するプログラムを用意しています。楽しいものや好きなものは、自分から始め、続けられます。楽力教育は、つくってみたいという意欲さえあれば、製作経験などは問わず、全学年・全類・課程の学生が参加できます。工房には最先端の部品や工具が揃っており、指導教員や先輩から親身なアドバイスを受けることもできます。試行錯誤したり仲間と協力しあったりしながら、世界でひとつだけの宝物をつくりあげる経験を積む。そこから独創性や主体性、目標達成力やコミュニケーション能力・協調性を養い、その後の飛躍の原動力を育むことも、楽力教育の大きな目的なのです。

## 楽力を磨く4つの工房

### 01

ハードウェアのものづくりに触れ、自分だけの作品をつくる

#### 電子工学工房



習うより慣れろ、をキーワードに電子回路の製作を通してエレクトロニクスの基礎力を身につけます。前学期は素子や測定器の使い方、基本的な回路を学び、はんだづけや計測器の操作などの基本的な技術を磨きます。後学期はグループに分かれ個別のテーマに取り組みます。

### 02

プログラミングの腕を磨き、ソフトウェアの面白さを体験する

#### 情報工学工房

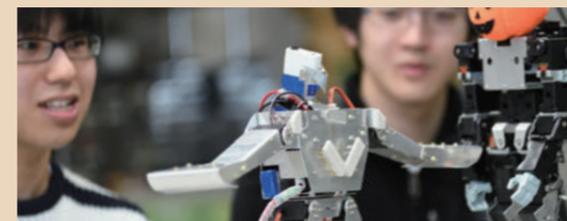


プログラミングの技術でソフトウェアとしてのものづくりの面白さを体験。どの類、どの学年でも参加でき「競技プログラミング」「ゲームのAI開発」「FPGA」「深層学習」「ロボットの制御」などの多彩なテーマから、少人数のチームに分かれて活動します。

### 03

コンテストを見据えて、ものづくりの独創性を競い合う

#### ロボメカ工房



全体で行う活動では、小中学生を対象にロボットコンテストを主催するなどの社会貢献活動をし、グループ活動では「NHKロボコン部隊」「レスキュー部隊」「ヒューマノイド部隊」「バーチャルリアリティ部隊」などコンテスト種目別に7つの部隊があり、個人とチームで知識と技術を身につけ大会に臨みます。

### 04

高度なイノベーション空間で、社会変革を促す情報システムを創造

#### ピクトラボ（高度ICT試作実験公開工房）



3Dプリンタやレーザー加工機など様々な機材を使用して試作が行える「キッチン」、プレゼンやデモが行える「ブレイルーム」、会議や講習会が行える「リビングルーム」があります。学生は24時間365日自由に設備を使用して試作を行うことができます。利用者や学生スタッフが技術を教えあう、交流の場としての側面もあります。

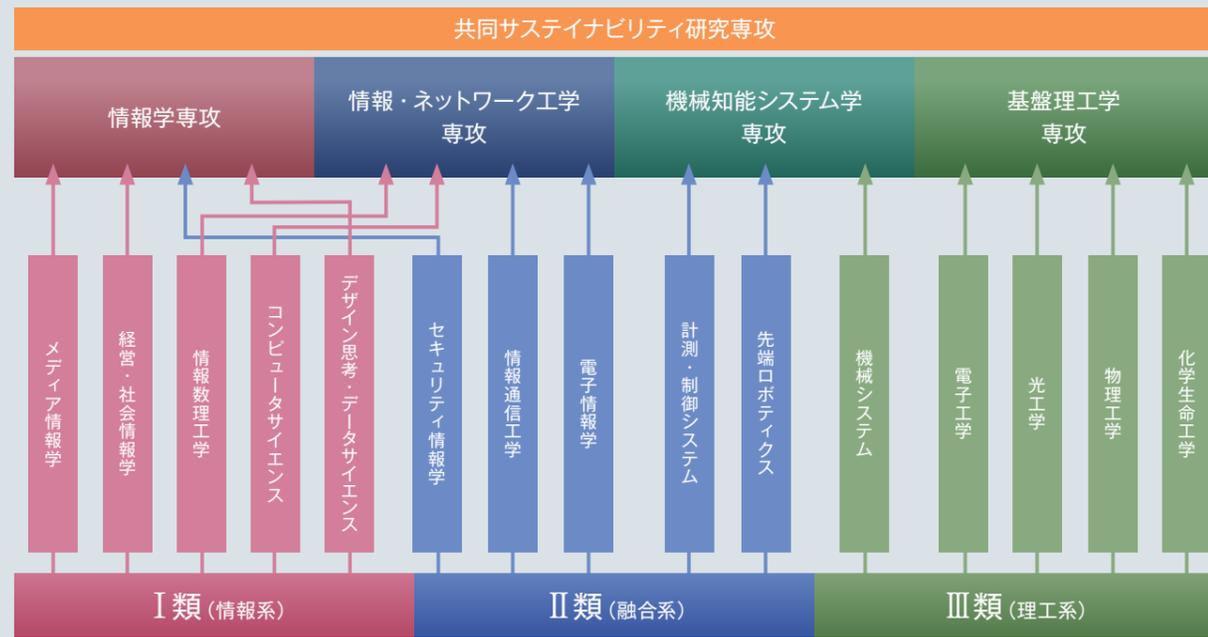
## 大学院 情報理工学研究科

情報の処理・通信およびその融合と高度な理工学、人間の知識や行動に関する教育研究を行う

情報理工学研究科では、情報理工学域において習得した基礎的かつ横断的学問を基盤として、「自然」、「人工物」を対象とする高度な理工学に関する学問領域、情報の処理や通信、ならびにこれらの融合に関する学問領域、人間の知識、行動、および複雑な社会経済システムに関する学問領域についての教育研究を行います。これにより、互いに調和し共生する高度なコミュニケーション

ン社会を実現するための「総合コミュニケーション科学」に関わる新しい実践的な科学と技術を創造・体系化し、独創的教育・研究を通じて幅広く深い科学的思考力、さらに、倫理観および社会性・国際性、論理的コミュニケーション能力を身につけた科学者・技術者を養成します。

### 情報理工学研究科の5専攻と情報理工学域の3つの類と15の専門教育プログラムの関連



以下のような意欲に溢れる皆さんを広く国内外から受け入れます

- 人類の持続的発展に貢献できる「総合コミュニケーション科学」の創造と実践により、高度コミュニケーション社会のさらなる発展に寄与する意欲に溢れている人。
- 情報理工学の各専門分野の知識を一層深化させ、同時に専門以外の分野にも視野を広げ、旺盛な探究心をもって研究に取り組む意欲に溢れている人。
- 将来は研究・開発の分野で科学者・技術者として国際的に活躍したい、あるいは様々な分野で専門的知識を生かして活躍しようとする意欲に溢れている人。

求められる資質、素養、能力等

#### アドミッション・ポリシー

##### 博士前期課程

- 確かな基礎学力と幅広く深い科学的思考力を有する。
- 体系的な専門知識と技術を実践的に応用し、課題を解決することができる。
- 幅広いコミュニケーション手段・技術を活用し、他人の考えを正しく理解し、自分の考えを正しく伝えることができる能力を備えている。
- 科学者・技術者として、高い倫理観をもって行動することができる。

##### 博士後期課程

- 高度な専門知識と幅広い教養を持ち、課題を自ら設定できる。
- 科学的思考力を有し、高度な専門知識と技術を応用し、先端的課題を能動的に解決することができる。
- 高度なコミュニケーション手段・技術を活用し、論理的・科学的思考のもと、課題について有益な討論を進めることができる能力を備えている。
- イノベティブなリーダーを目指す科学者・技術者として、グローバルな視野と高い倫理観をもって能動的に行動できる。

### 共同サステナビリティ研究専攻 (博士後期課程のみ)

#### 三大学の専門分野の強みを結集し地球規模の課題に挑む文理協働型博士人材を創出

電気通信大学、東京外国語大学、東京農工大学の三大学は、西東京国立三大学連携により「共同サステナビリティ研究専攻」を開設。文理各分野に卓越した強みを持つ単科大学の協働により、グローバル社会でリーダーとして活躍する強い人材を養成し、貧困、紛争、食料、資源、エネルギー・環境、生命・医療など、地球規模の課題解決に貢献できる文理協働型の博士人材の創出を目指します。カリキュラムでは、「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念や視座を実践的に具現化し、体系的かつ柔軟性のある文理協働型教育課程を提供。自身の専門性に軸足を置き、専門的な観点から地球規模の課題を捉えつつ異分野の知見や思考と融合することで、イノベーションを創出する学際的な実務人材を養成します。ディベートやインターンシップなど、実践的な演習を幅広く取り入れていることも特色です。

研究室名	研究テーマ
橋山智訓 研究室	コンピュータの論理で人間の創造性・感性を支えるシステム構築
山本佳世子 研究室	GISで現実空間と仮想空間をつなぐ
横井浩史 研究室	人間と機械をつないで運動と感覚の機能を再現する
榎木光治 研究室	エネルギー工学の観点から、様々な機械機器の高効率化を目指す

#### 育成する人材像 協働による人材育成を展開

##### 電気通信大学の強み

情報学分野、情報通信分野、ロボット制御分野、光工学分野において、グローバルな視野を持つイノベティブな高度専門技術者の養成

##### 東京外国語大学の強み

世界の言語とそれを基底とする文化一般を、理論と実践により研究教育し、現代世界が抱える様々な課題をグローバルな視点から解決する能力を備えた国際職業人を養成

##### 東京農工大学の強み

農業、工学及びその融合領域において、高度な研究能力を備えながら、国際社会で指導的な役割を担うことのできる対話力・対応力を有する国際系イノベーション人材を養成



### 情報学専攻

メディアや組織の運営管理、セキュリティに関する高度専門技術者を養成



情報の応用・活用分野の高度専門技術者を養成します。「メディア情報学プログラム」では映像、音響、触覚などの情報処理を用いた五感メディア、人工知能やエージェント技術を用いる知的メディア、人間の感情とメディアの関わりを探る感性メディア、メディアを駆使したコンテンツデザインなどを多面的に学びます。「経営・社会情報学プログラム」では経営に関わる生産管理、品質・信頼性、サービス・サイエンス、オペレーションズリサーチや、社会に関わる人間心理、認知・言語、リスク工学、組織科学などを学びます。「セキュリティ情報学プログラム」では高信頼、安全な社会基盤としてのインターネットや情報セキュリティの発展を目指し、サイバー空間と実世界の安全性に対する脅威に対抗する技術や管理・運用法、理論をハード、ソフトの両面から学びます。「デザイン思考・データサイエンスプログラム」では、ビッグデータから有意義な情報を抽出し、法則、関連性を見出しながらイノベーションを創出するために、データサイエンスに加えて、デザイン思考、システム思考、国際感覚、イノベーション・マインドについて学びます。

### 機械知能システム学専攻

メカトロニクスの研究・開発に求められる多様な知識とそれらを総合してシステムを設計できる能力を養う



高度に電子化・情報化された機械システム、すなわちメカトロニクスの研究・開発に求められる多様な基礎知識と、それらを総合してシステムを設計できる能力を養います。現代社会の基盤であるエネルギー、生産、輸送、流通、通信、情報などに関わる産業は、ロボット、自動車、航空機、情報機器、家電、発電システムなどのメカトロニクスに支えられています。絶えず進化し続けるメカトロニクス分野の研究・開発を担うためには、機械工学、計測・制御工学、電子・情報工学、人間情報学などの基礎知識を身につけるとともに、これらを総合して未知のシステムを解析する能力や優れたシステムを設計する能力が求められます。本専攻の教育は、そのような能力を身につけた高度専門技術者を育成することを目的としています。

### 情報・ネットワーク工学専攻

情報・通信・ネットワーク技術の教育研究を推進し、柔軟な科学的思考力を持つ人材を育成



情報・通信・ネットワーク・メディア処理・マンマシンインタフェースやそれを支える数理情報解析技術・コンピュータ・電気電子システム技術など、高度コミュニケーション社会の基盤となる情報・通信・ネットワーク技術の分野に関する教育研究を推進します。学問を基礎から体系的に学び、応用力、柔軟性、創造性などの力を身につけ、一人前の技術者・研究者になるため、本専攻の教育においては自然科学、数学などの基礎を重要視しています。科学技術の分野で専門分野を極めるのは、高い山を登るのに似ています。長い道のりを一歩一歩進み続けるうちに、展望が徐々に開けてきます。こうして、専門知識を縦横に活用できる豊かで柔軟な科学的思考能力を持つ人材の育成を目指します。

### 基盤理工学専攻

電子工学、光工学、物理学、化学生命工学の教育と研究を通して、創造的な技術者・科学者を育成



先進的な科学・技術は、自然界の真理・原理を探求する「理学」とその真理・原理を技術に展開する「工学」とが統合された「理工学」から創出されます。基盤理工学専攻では、本学の「総合コミュニケーション科学」の基盤的な要素である「電子工学」、「光工学」、「物理学」、「化学生命工学」の教育と研究を行います。急速に変化するこれらの分野において新たな知を創造し、新技術を発明／開発し、世界に発信するという大学の役割が高まっています。確かな学問的基盤があってこそ、科学・技術の革新が生まれ、工学が発展します。本専攻は、専門的な知識・技術の基盤と国際的な視野に基づいて、新たな方法で人類の課題に取り組むことのできる創造的な技術者・科学者を育成することを目指しています。

主な就職先、  
大学院進学先一覧、  
取得可能な免許・資格等の  
詳細はこちら



## 学費

### ■納付金

※令和5年度参考

コース	入学科	授業料	計
昼間コース	282,000円	535,800円	817,800円
夜間主コース	141,000円	267,900円	408,900円

### ■入学科、授業料減免および徴収猶予制度

経済的理由により支払いが困難である場合、学費負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合などは、願い出により、選考の上、入学科・授業料の全額または一部を免除、あるいは徴収猶予する制度があります。

### ■先端工学基礎課程(夜間主コース)における長期履修制度

先端工学基礎課程(夜間主コース)では、長期履修制度の利用が可能です。長期履修制度とは、職業を有する等の事情で授業履修の機会や研究指導を受ける時間が制限され、標準修業年限では卒業することが困難な場合に、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を修了することを認める制度です。本制度の適用を申請しそれが認められた場合には、納入する授業料総額は標準修業年限期間の総額に等しい額となります(ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されます)。また、長期履修を認められた学生が長期履修期間の延長又は短縮を願い出することもできます。

## 奨学金

### ■UEC学域奨学金制度

理工系分野に強い興味と探求心を持ち、学業成績が優秀で学修意欲にあふれる学生へ、修学に必要な支援を行うことを目的とした、返還を要しない給付型の奨学金制度です。

※2年次以降の募集は、進級時に行います。

支給額	年額 20万円(前学期・後学期に分割支給)
支給期間	1年間
奨学生数	情報理工学域昼間コース 男子5名以内・女子5名以内

### ■日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構による奨学金には、給付および第一種(無利子返還)と第二種(有利子返還)の3種類があります。また、家計急変や災害等で突然学資に困った場合には、緊急給付および貸与の制度があります。

### ■UEC成績優秀者特待生制度

学業の成果を評価し、さらに学修への意欲を高めるための特待生制度です。返還を要しません。

※選考は対象学年の在學生の中から、前年度までの学業成績に基づき決定します(公募は行いません)。

支給額	年額 50万円
支給期間	1年間
特待生数	情報理工学域昼間コース2~4年次 各学年とも3名

### ■地方公共団体等の奨学金

毎年約50の団体から募集があり、貸与方式や給付方式など制度は様々です。

## 学生サポート

電気通信大学では、心身の健康についての相談や、カウンセラーによる相談など、学生生活をサポートするための様々な体制を整えており、教員・専門医・カウンセラーが、皆さんからの各種相談を受け付けています。学生同士のメンター制度では後輩学生に、学生生活や履修などの疑問に対しアドバイスします。



学生何でも相談室

臨床心理士のカウンセラーが、学生の普段の生活、修学関係、友人関係やこころの悩みなど、各種相談を受け付けています。

月曜日~金曜日(祝祭日を除く) 9時~17時



障害学生支援室

障害のある学生の権利保障、合理的配慮の提供に関する相談窓口です。学生本人からの申し出を受け、教職員や関連部署と連携して修学支援の調整を行います。 月曜日~金曜日(祝祭日を除く) 9時~17時



学生メンター制度

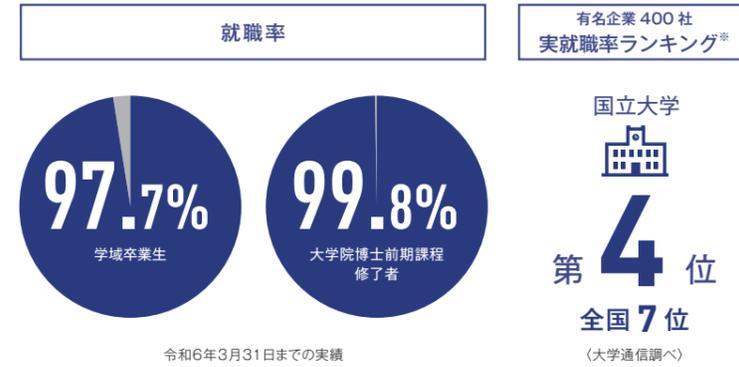
学生生活や履修選択、勉強の仕方といった新入生の多くが抱く疑問や、研究室配属、進路の選択などについて、2年生以上の学生が相談に乗ります。

月曜日~土曜日(授業期間中のみ、ただし祝祭日を除く) 16時15分~17時15分

## 進路・就職・資格

電気通信大学では、卒業生の多くが勉学と研究をさらに深めようと大学院へと進学しています。このうち、本学の大学院への進学者は9割強です。就職率も学域・大学院ともに約95%以上と高く、「有名企業400社実就職率ランキング」\*では毎年上位にランクされています。また、試験科目が一部免除されるものも含めさまざまな資格の取得が可能です。

※株式会社大学通信「有名企業400社実就職率ランキング2023」(2023年8月)

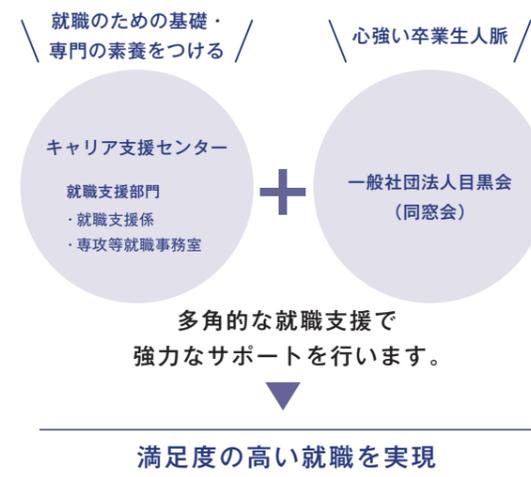


### ■主な就職先 (2019~2023年度卒業生・修了生)

企業名	学域	大学院	合計
株式会社NTTドコモ	1	61	62
KDDI株式会社	3	40	43
株式会社NTTデータ	6	37	43
富士通株式会社	6	34	40
株式会社日立製作所	6	33	39
日本電気株式会社	3	33	36
株式会社コエーテックホールディングス	11	22	33
ソニー株式会社	1	31	32
本田技研工業株式会社	3	26	29
キヤノン株式会社	1	27	28
国家公務員	9	17	26
地方公務員	22	14	36
教員	10	2	12

## 就職サポート

本学では就職希望者に対して、「キャリア支援センター」と「一般社団法人目黒会(同窓会)」の2組織が連携して学生一人ひとりの希望や適性に即した強力なサポートを行い、満足度の高い就職を実現しています。



### ■一般社団法人目黒会(同窓会)

#### 卒業生のネットワークが在學生をサポート

一般社団法人目黒会は、かつて校舎を構えた街の名を冠した電通大の同窓会組織です。卒業生の交流・親睦に限らず、大学と連携協力して在學生の就職サポートなども積極的に実施。活動内容は、業界研究セミナーや合同企業説明会、模擬面接・個別相談など多岐にわたります。



### ■キャリア支援センター【就職支援部門】

#### 就職支援係

#### キャリアカウンセラーが学生一人ひとりにアドバイス

キャリア支援センター内に設置されており、就職説明会の開催、キャリアカウンセラーによる就職・進路相談、求人情報の公開などの支援を行っています。なお、卒業生の主な就職先、業種別進路状況などはウェブサイトに掲載。自宅からでも閲覧することができます。

#### 各専攻等就職事務室

#### 専門性を活かした就職の情報を提供

各専攻等に設置された就職支援組織です。それぞれの専攻等の専門に合った様々な分野の業種、職種の就職情報が集まり、その専攻等に所属する教員からの指導も受けられます。自分の専門を活かせる就職先への推薦応募の相談も可能です。

# UEC CAMPUS LIFE

## 01 電通大を選んだ理由は？

数字で見る  
電通大等の  
詳細はこちら



### 自分にあった “学び”に出会える

たくさんある研究室から自分の興味や関心にあった学びを選択できることが魅力でした。

I類(情報系)  
メディア情報学プログラム4年  
高井 麻衣さん



### 身近にあった 国立大学でした

教育環境の充実はもちろんですが、自宅から1時間以内で通えるのは大きなメリットでした。

II類(融合系)  
先端ロボティクスプログラム4年  
笠置 陸さん



### とにかく 研究室が多彩！

研究室が多いことが魅力的でした。中でもロボットに関する研究室がたくさんあったのが決め手でした。

II類(融合系)  
先端ロボティクスプログラム4年  
久米 佑弥さん



### 就職実績が 魅力でした

入学前から興味があった医用工学に関して学べる大学の中でも高い就職実績でやり関心が高まりました。

II類(融合系)  
先端ロボティクスプログラム4年  
梅津 菜央さん



### 学びの環境に 恵まれています！

興味のある研究室があるのはもちろん、最新の設備が整った研究環境に心惹かれました。

III類(理工系)1年  
山崎 結羽帆さん



## 03 キャンパスマップ

キャンパス  
マップの  
詳細はこちら




### 最新鋭の施設・設備が 集積したワンキャンパスの 魅力

- ① 附属図書館
- ② Ambient Intelligence Agora
- ③ 情報基盤センター
- ④ 100周年キャンパス UEC Port
- ⑤ 多摩川運動場
- ⑥ 野外競技場
- ⑦ 水泳プール
- ⑧ コミュニケーションパーク
- ⑨ 大学会館
- ⑩ UEC コミュニケーション  
ミュージアム
- ⑪ サークル会館
- ⑫ 生協食堂

電通大360°VR  
キャンパスツアー



## 02 私の電通大ライフ

私の  
電通大ライフの  
詳細はこちら



学びの場に一番近いところで生活できたこと。  
それが宿舍暮らしの一番のメリットでした。

ドーム友達・絆に2年ずつ居住しました。ドーム友達ではルームメイトと夕食を一緒に作ったり、課題に協力して取り組むなど充実した生活を送ることができました。一番良かったのは、大学に近いため研究室に配属されてからもモチベーションを維持するのに役立ったこと。大学で気に入っている場所は、電通大南食堂とも呼ばれる“食神餃子王”、調布の名店“かれんど”など。週に何回もこのお店を利用しています。また、図書館は専門書の蔵書も多く、疲れにくいオフィスチェアが導入されているので、勉強したり課題に取り組むにはおすすめです。



実家暮らしの魅力は家族のサポートがある安心感。  
充実した大学生活を送ることができています。

電通大を選んだのは就職実績の良さとアクセスの良さでした。実家からの通学を考えていた私にとって、新宿から京王線で約15分という立地は魅力的でした。実家から通いたかった理由は、家族の協力や支援を得ながら大学生活を送れるという点。風邪を引いた時にも安心で、精神的な安定も得られると考えました。旅行が趣味なのですが、旅行資金も貯めやすいというメリットもありました。大学では特に図書館がお気に入りです。授業の空き時間には、図書館で過ごすことが多いです。友達と一緒に行く時は2階のアゴラでおしゃべりしたり、一緒に勉強をしています。



## 04 CIRCLE ACTIVITIES

サークルの  
詳細はこちら



公認団体の数は、体育系・文化系、同好会等合わせて約80。趣味が同じ仲間との時間は、きっとかけがえのないものとなるはずですよ。

### 文化系サークル

■管弦楽部 ■ウインドアンサンブルオーケストラ部(WEO) ■古典ギター部 ■グリークラブ ■シンセデザイン研究部 ■モダンジャズ研究会 ■軽音楽部 ■フォークソング部 ■工学研究部 ■MMA(Microcomputer Making Association) ■競技ダンス研究部 ■囲碁部 ■将棋部 ■美術部 ■写真研究部 ■放送研究会 ■キネマクラブ ■無線部 ■天文部 ■器楽部

### 体育系サークル

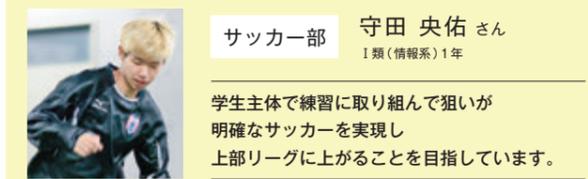
■陸上競技部 ■硬式野球部 ■サッカー部 ■ラグビー部 ■バレーボール部 ■バスケットボール部 ■卓球部 ■バドミントン部 ■水泳部 ■弓道部 ■アーチェリー部 ■柔道部 ■剣道部 ■空手道部 ■硬式庭球部 ■軟式庭球部 ■ヨット部 ■ワンダーフォーゲル部 ■サイクリング部 ■自動車部 ■アメリカンフットボール部 ■松涛館空手道部 ■合気道部

### 同好会サークル

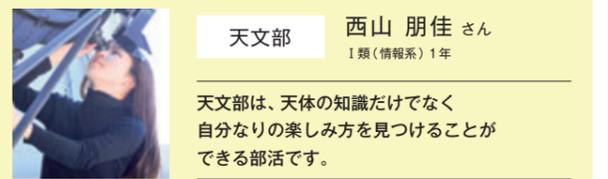
■バレーボール同好会 ■スキー愛好会 ■国際交流会(ICES) ■漫画・アニメーション研究会 ■鉄道研究会 ■硬式テニス愛好会(フリーダム) ■X680x0同好会 ■模型研究会 ■フットサル愛好会 ■Passage(ばさーじゅ) ■U.E.C.wings(鳥人間サークル) ■TeRes(Technical Researchers) ■Street Dance 同好会 ■たまあ〜ず(軟式野球サークル) ■バドミントンサークル ■非電源ゲーム研究会 ■スポーツチャンバラ同好会 ■競技麻雀部 ■ピアノの会 ■文芸・文学総合研究会 ■声優文化研究会 ■UECボケモンだすきクラブ ■バーチャルライブ研究会 ■電気通信大学ハンドボールサークル ■UECサバゲー愛好会 ■東方Project同好会 電々.通信 ■ラクロス同好会

### 学友会委員会

■執行委員会 ■会計委員会 ■調布祭実行委員会 ■新入生歓迎実行委員会



サッカー部は現在16人で活動しています。練習日は水曜日と金曜日と土日のどちらかで試合を行います。活動場所は電通大の多摩川グラウンドで行っており、練習時間は17時から19時の2時間です。現在東京都チャレンジリーグに所属していて、狙いがあるサッカーを実現することで二部リーグに上がること、そしてリーグ戦期間外に行われるカップ戦で勝ち上がることが目標です。サッカー部の魅力は楽しく真剣にサッカーに取り組めること。学生主体で練習メニューを考えたり、戦術を考えていて、チームに一体感があるのもいいところだと思います。



天文部は観測、星景写真の撮影など部員によって楽しみ方が異なるのが魅力です。週に一回、部会を行い、東3号館の屋上で観測会を行っています。また、秋に行われる調布祭にも参加し、星景写真の展示・プラネタリウムの上映を行い、天体観測の楽しさを伝える活動を行っています。夏や春の長期休暇中には合宿も実施します。活動を通じて天体の知識だけでなく、望遠鏡・カメラの使い方について学ぶこともできます。天文に興味はあるけど知識が無いという方も、天文に関する知見を深め自分なりの楽しみ方を見つけられると思います。

# 2025年度 入試情報

入試情報について詳細はこちら▶



※詳細は各入試の学生募集要項をご確認ください。変更等について、本学ウェブサイトにてお知らせいたします。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

### ■情報理工学域

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探求的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。このような教育方針に沿って、右記のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

※情報理工学域のⅠ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）および先端工学基礎課程（夜間主コース）に関するアドミッション・ポリシーの詳細、ならびにディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、本学のウェブサイトをご覧ください。

### ■求める学生像

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探求心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

2025年度入試の主な変更点	
●大学入学共通テストの受験を要する教科・科目に「情報」を追加	
●一般選抜（前期日程）の個別学力検査において、理科（物理、化学の2科目必須）を物理、化学、情報の3科目から2科目選択に変更	
●総合型選抜、学校推薦型選抜においてCBTを活用した基礎学力検査を実施（Ⅰ類（情報系）のみ）	

## 情報理工学域 入学定員

類	専門教育プログラム	入学定員(名)
Ⅰ類（情報系）	メディア情報学／経営・社会情報学／情報数理工学／コンピュータサイエンス／デザイン思考・データサイエンス	255
Ⅱ類（融合系）	セキュリティ情報学／情報通信工学／電子情報学／計測・制御システム／先端ロボティクス	235
Ⅲ類（理工系）	機械システム／電子工学／光工学／物理工学／化学生命工学	230
	小計	720
	先端工学基礎課程（夜間主コース）	30
	合計	750

## 情報理工学域 募集人員

類・課程	募集人員(名)	募集人員の内訳(名)						
		一般選抜		学校推薦型選抜(注1)	総合型選抜	総合型選抜(夜間主コース)	私費外国人留学生選抜	
		前期日程	後期日程					
類別入試	Ⅰ類（情報系）	255	126	96	6 5 5 5 5(注2)	7	—	若干名
	Ⅱ類（融合系）	235	114	89	4 6 5 5 5	7	—	若干名
	Ⅲ類（理工系）	230	114	85	5 5 5 5 4	7	—	若干名
	小計	720	354	270	75	21	—	若干名
	先端工学基礎課程（夜間主コース）	30	—	—	—	—	30	—
	合計	750	354	270	75	21	30	若干名

注1) 学校推薦型選抜は、各類各専門教育プログラム別に募集します。

注2) Ⅰ類（情報系）の学校推薦型選抜における「デザイン思考・データサイエンスプログラム」の募集は女子を対象とします。

## 一般選抜の方法

出願期間:2025年1月27日～2月5日 選抜期日【前期】:2025年2月25日 合格発表【前期】:2025年3月6日 入学手続【前期】:2025年3月15日郵送必着  
【後期】:2025年3月12日 【後期】:2025年3月21日 【後期】:2025年3月27日郵送必着

前期日程および後期日程は類別による募集とし、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書（高等学校卒業程度認定試験合格者および大学入学資格検定合格者はその成績証明書）を総合して選抜を行います。また、本学では特に個別学力検査（全教科・科目の合計点）の高得点者については優先的に合格者としてとっています。

### ■令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学域・類等	受験を要する教科・科目
情報理工学域	前期日程
	後期日程
	国語【国語】 地理歴史【歴史総合、日本史探究】、【歴史総合、世界史探究】、【地理総合、地理探究】、【公共、倫理】、【公共、政治・経済】 から1 数学【数学Ⅰ、数学A】、【数学Ⅱ、数学B、数学C】 理科【物理】、【化学】、【生物】、【地学】 から2 外国語【英語】、【ドイツ語】、【フランス語】、【中国語】、【韓国語】 から1 情報【情報Ⅰ】（計6教科8科目）

注1) 地理歴史・公民について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点をを用います。

注2) 「英語」はリーディングとリスニングを利用します。なお、リーディング、リスニングのどちらか一方しか受験していない場合は、出願資格はありません（受験できません）。ただし、リスニングを免除された者は除きます。

注3) 教科の配点については、下記の「配点」を参照してください。

### ■個別学力検査

日程	教科	科目	備考
前期	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C	
	理 科	物理(物理基礎、物理) 化学(化学基礎、化学)	物理、化学、情報の3科目から2科目選択
	情 報	情報Ⅰ	
	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	

日程	教科	科目	備考
後期	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C	
	理 科	物理(物理基礎、物理) 化学(化学基礎、化学)	物理、化学の2科目必須
	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	

### ■配点

区分	教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	情報	外国語	合計
前期日程	大学入学共通テスト	100	50	100	100	50	100	500
	個別学力検査	—	—	200	200※	—	100	500
後期日程	大学入学共通テスト	50	50	50	100	50	50	350
	個別学力検査	—	—	300	200	—	100	600

※物理、化学、情報の3科目から2科目選択

## 総合型選抜の方法

出願期間:2024年9月3日～9月5日  
選抜期日:基礎学力検査(CBT):2024年9月13日(Ⅰ類のみ)  
面接試験:2024年10月15日  
合格発表:2024年11月1日 入学手続:2024年12月17日郵送必着

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、面接試験および提出書類を総合して行います。高等学校在学中の科学系コンテスト等への参加のような主体的な活動や、本学で実施される高大接続教育(UECスクール)をはじめとする高大接続型スクーリングでの積極的な活動も、評価の対象となります。 ※なお、Ⅰ類(情報系)においては、2025年度入試よりCBTを活用した基礎学力検査を実施します。詳細については、今後本学ウェブサイトにて随時更新いたします。

## 総合型選抜（夜間主コース）の方法

出願期間:2024年11月1日～11月8日 選抜期日:2024年11月19日・20日  
合格発表:2024年12月4日 入学手続:2024年12月17日郵送必着

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、総合問題試験、面接試験および出願書類を総合して行います。

## 学校推薦型選抜の方法

出願期間:2024年11月1日～11月8日  
選抜期日:総合問題、基礎学力検査(CBT)(Ⅰ類):2024年11月19日  
総合問題(Ⅱ、Ⅲ類):2024年11月19日  
面接試験:2024年11月20日  
合格発表:2024年12月4日 入学手続:2024年12月17日郵送必着

各類各専門教育プログラム別に募集します。入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、総合問題試験、面接試験および出願書類を総合して行います。 ※なお、Ⅰ類(情報系)においては、2025年度入試よりCBTを活用した基礎学力検査を実施します。詳細については、今後本学ウェブサイトにて随時更新いたします。

## 私費外国人留学生選抜の方法

出願期間:2025年1月20日～1月22日 選抜期日:2025年2月25日・27日  
合格発表:2025年3月6日 入学手続:2025年3月15日郵送必着

入学者の選抜は、日本留学試験、本学が実施する学力検査、面接試験、出身学校等の成績を総合して行います。